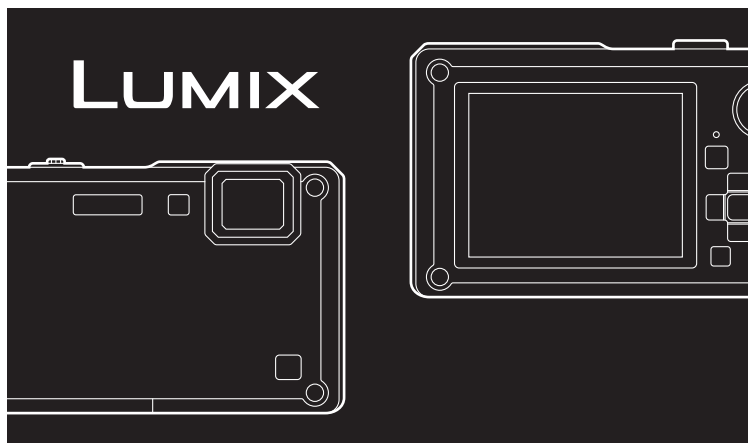
Panasonic

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-FT1

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(6～9ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

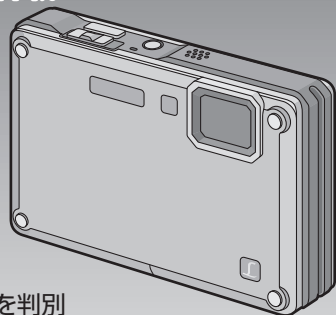
保証書別添付

VQT1Z44-3

大切な瞬間を 楽しく カンタンに 撮る・

アウトドアシーンでも大活躍 「防水/防じん、耐衝撃」性能搭載※

※11、12ページをよくお読みください

撮る

おまかせで撮る

(P35)

● カメラが自動でシーンを判別
「インテリジェントオートモード」

ズームで撮る

(P41)

● 遠くの人も大きく
「光学4.6倍ズーム」など

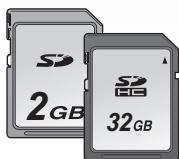
動画を撮る

(P67)

● ボタンひとつで動画撮影
● ハイビジョン動画を長時間撮影
「AVCHD Lite」(1280×720画素)

個人認証機能を使って撮る

(P75)

● 登録した顔に近い顔を見つけて、
優先的にピントや露出を合わせる
「個人認証」

各機器にSDカードスロットがある
場合は、カードを直接スロットへ!

● SDHCカードは、SDHCカード
対応機器でのみ使用できます。

見る・残す LUMIX（ルミックス）

● テレビで見る

SDカード　AVケーブル

HDMIミニケーブル（別売）

残す

● ご家庭のプリンターで手軽にプリント
（PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンター）
● お店でカードを渡してプリント
● 画像に日付を入れてプリント（P126）

SDカード　USB接続ケーブル

さらに 活かす、残す！

付属のソフトウェア
「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って…
● 画像をパソコンに保存
● パソコンで画像をメール送信
● パソコンで画像を直接操作してプリント

SDカード　USB接続ケーブル

● ハードディスク･BD/DVDレコーダーで保存

SDカード　AVケーブル

ACアダプター（別売）

マルチ変換アダプター（別売）

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください(6～9ページ)

応用・再生

他の機器との接続

その他・Q & A

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠危険

チャージャー（充電器）は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解や改造はしない

分解禁止

火災・感電・ショートの原因になります。

- 内部には、電圧の高い部分があります。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショート・発熱の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、カード / バッテリー扉や端子カバーを確実に閉めてください。

⚠警告

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードやブラシは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュおよび LED ライトを発光しない

事故の誘発につながります。

⚠注意

フラッシュ発光部および AF補助光/LEDライトは、至近距離(数cm)で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

LEDライトを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、70 cm以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- **本機を落としたり、ぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  - ・誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  - ・防水性能が損なわれる原因になります。
- 水辺や水中、ぬれた手でカード / バッテリー扉や端子カバーの開け閉めは行わないでください。
- 本機に水滴が付いている場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってから開けてください。
- カード/バッテリー扉や端子カバーの内側に水滴が付いた場合、完全にふき取ったあと、付属のブラシで異物を取り除いてください。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- ハンドストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますので、お気をつけください。
- **砂やほこりの多いところでは、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
- **レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。**
- **ボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。**

■ つゆつきについて(レンズがくもるとき)…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。
- くもりが取れにくいときは、カード/バッテリー扉や端子カバーをしばらく開けておくと、くもりが取れる場合があります。(水辺での開け閉めはしないでください)

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P142)

（重要）本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について

- 本機は、JIS保護等級IP58相当の防水/防じん性能があります。水深3.0 m/60分までの撮影が可能です。※1

※1当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力の水中で使用できることを意味しています。すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

- 付属品は防水仕様ではありません。
- MIL-STD 810F Method 516.5-Shock に準拠した厚さ5 cmの合板上での1.5 mからの落下テストをクリアしています。※2

※2すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

次の事項をお守りいただき、保証性能以上の水圧や、極端にほこり、砂じんの多い環境でのご使用などは避けてください。

本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。

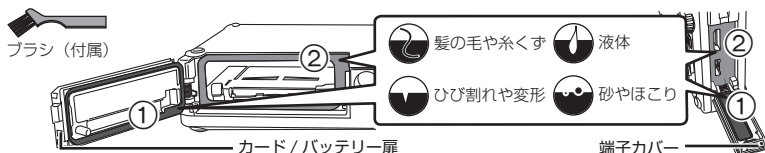
カメラに衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口(P155)にご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検(有料)をおすすめします。

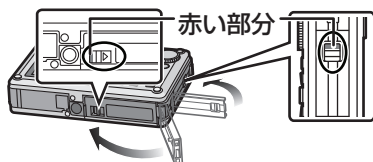
お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。

■ 取り扱いについて

- 本機を寒冷地での低温下、または、40 ℃以上の高温になるところ(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内、暖房機の近く、船上、砂浜など)に長時間放置しないでください。(防水性能が劣化します)
- 海や湖、川など水辺でのカード / バッテリー扉や端子カバーの開け閉め、およびぬれた手での開け閉めは行わないでください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。

■ 異物が付着していないことを確認する

- カード / バッテリー扉や端子カバーを閉じる前に、イラストの黒く塗りつぶした部分(① ゴムパッキンと ② ゴムパッキンのあたるところ)に異物(髪の毛や糸くず、砂、ほこり、液体など)が付着していないことを確認してお使いください。カード / バッテリー扉や端子カバーが異物を挟み込んでいる状態で水中で使用すると、浸水して故障の原因になります。
- 液体が付着している場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- 異物が付着している場合は、付属のブラシで取り除いてください。
- イラストの黒く塗りつぶした部分にひび割れや変形がある場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口(P155)にご相談ください。

■ カード / バッテリー扉や端子カバーをしっかり閉じる

- 浸水を防ぐために、液体や砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。
- 開閉レバーの赤い部分が見えなくなっていることを確認してください。

（重要）本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について（つづき）

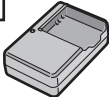
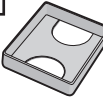
■ 水中でのご使用について

- 水深3 m以内、水温0度から40度の範囲内の場所で使用し、水中で60分以上連続して使用しないでください。
- 本機に水滴や汚れが付いているときは、一度水分を柔らかい乾いた布でふき取り、風通しの良いところで乾燥させてからお使いください。
- カード / バッテリー扉や端子カバーの開け閉めをしないでください。
- 水中で本機に衝撃を与えないでください。（防水性能が保てず、浸水の可能性があります）
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。（強い水圧がかかり、故障の原因になることがあります）
- 本機は水中に沈みます。紛失させないため、ハンドストラップを確実に装着するなどして、落とさないようにしてください。
- 40 ℃を超えるお湯（お風呂や温泉など）の中では、使用しないでください。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼けオイル、日焼け止め、薬品などの飛まつがかかったときは、速やかにふき取ってください。
- カードやバッテリーは防水ではありません。ぬれた手で取り扱わないでください。また、ぬれたカード、バッテリーを本機に入れないでください。

■ 水中でのご使用後のお手入れについて

- 本機に付いた水滴や汚れを、柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- カード / バッテリー扉や端子カバーの内側表面に水滴が付くことがあります。水滴が付いているときは、必ずふき取ってください。
- 水中でのご使用後は、60 分以上放置しないでください。防水性能の劣化の原因になります。
- 海辺や水中でのご使用後、カード/バッテリー扉や端子カバーがしっかりと閉じていることを確認してから、浅い容器にためた真水の中で 10 分以内でつけ置きしてください。

- ズームレバーやモードダイヤルが正常に動かないときは異物が付着している可能性があります。そのまま使用すると動かなくなるなど、故障の原因になりますので、真水につけてよくゆすり、ズームレバーやモードダイヤルの異物を洗い流してください。そのあと、ズームレバーやモードダイヤルが正常に動くことを確認してください。
- つけ置きまたは水洗いのあと、柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かしてください。
- 本機は水抜き構造となっており、電源ボタンやズームレバーなどのすきまに入った水が外に出てきます。このため、水につけた際には泡が出ることがありますが、故障ではありません。水につけたあとは、しばらく乾いた布の上に本機を立てて置き、水が抜けたことを確認してください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変形により防水性能が劣化します。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品、石けん、中性洗剤を使用しないでください。

■ 防水パッキンの交換について

- 本機の防水パッキンの性能は、1年以上経過すると劣化します。最低でも1年に1回はお買い上げの販売店かお近くの修理ご相談窓口（P155）にご相談いただき、防水パッキンの交換（有料）をおすすめします。

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2009年2 月現在のものです。

□ **CD-ROM** ●パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。	□ **ハンドストラップ** VFC4393
□ **バッテリーパック** DMW-BCF10 （本文中では**バッテリー**と表記します） ●充電してからお使いください。	□ **ブラシ** VFC4364
□ **バッテリーチャージャー** DE-A59A （本文中では**チャージャー**と表記します）	□ **AVケーブル** K1HA14CD0002
□ **バッテリーケース** VGQ0D56	□ **USB接続ケーブル** K1HA14AD0002

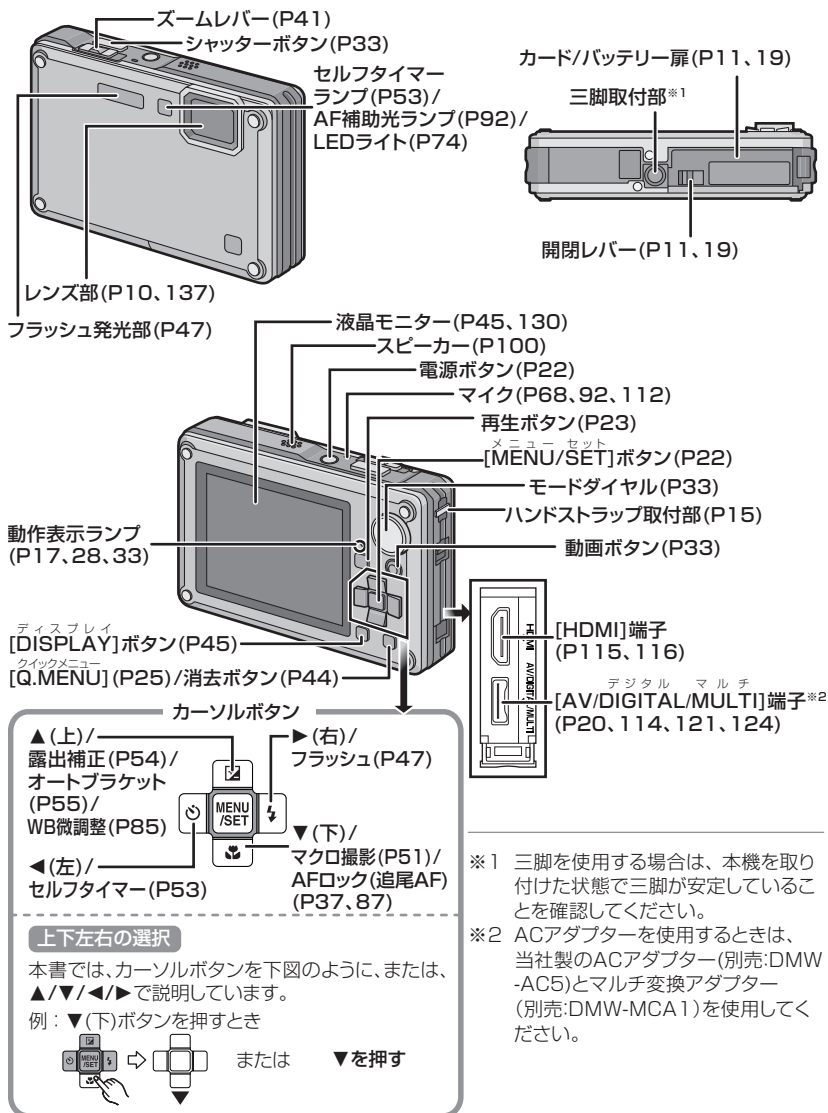
- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については128ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 付属品は防水仕様ではありません。

各部の名前

上下左右の選択

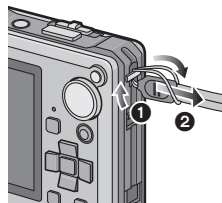
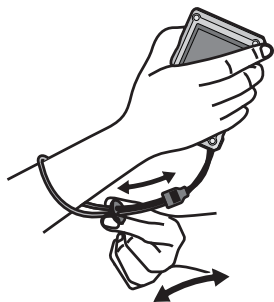
本書では、カーソルボタンを下図のように、または、▲/▼/◀/▶で説明しています。

例：▼(下)ボタンを押すとき

または　**▼を押す**

※1　三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

※2　ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)とマルチ変換アダプター(別売:DMW-MCA1)を使用してください。

ハンドストラップを付ける

1 ハンドストラップを本体のハンドストラップ取付部にとおす

2 手を入れたあと、長さを調整する

お知らせ
- ハンドストラップは必ず手順に従って正しく取り付けてください。
- 本機は水に沈みますので、水中での撮影時にはハンドストラップに手をとおしてお使いください。

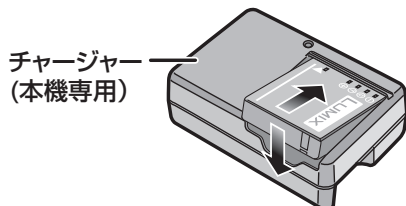
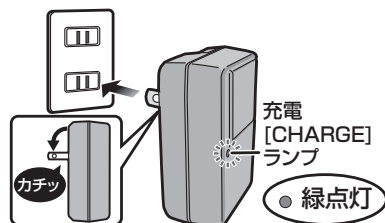
バッテリーを充電する

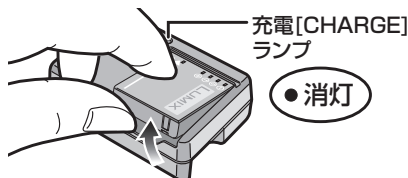
■ 本機で使えるバッテリー(2009年2月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BCF10です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、安全に使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー(DMW-BCF10)は、この機能に対応しています。本機で使用できるバッテリーは、純正品と当社認証を取得した他社製バッテリーです。(この機能に対応していないバッテリーは使用できません)
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性については一切保証できません。
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～35 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行ってください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

3 充電が完了したらバッテリーを取り外す

- 充電が完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

■ 充電ランプが点滅するときは

- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。または充電が完了しない場合があります。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

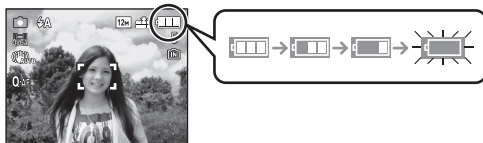
お知らせ

- 充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから外してください。
- 使用後や充電中、充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。(使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります)
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。
- **チャージャーは海外でも使うことができます。****(P129)**
- **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

準備

バッテリーについて(充電・記録可能枚数)

■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。
[ACアダプター(別売)につないで使用するときは表示されません]

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します)
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

バッテリーを充電する（つづき）

■ 電池寿命について

記録可能枚数	約 340 枚	条件はCIPA規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約 170 分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%、液晶モニターを点灯※
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正[AUTO]使用）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

※ [オートパワーLCD] または [パワーLCD]（P27）時は、記録可能枚数が減少します。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に 1回撮影した場合は、上記（30 秒に 1 回撮影）の枚数の約 1/4（約 85 枚）になります]

再生時間	約 300 分

記録可能枚数/再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

連続記録可能時間（動画）	約100 分

- 撮影モードを [AVCHD Lite]、画質設定を [SH] に設定して連続撮影

記録可能時間は、撮影間隔や使用条件によって変わります。※

※電源の [ON]/[OFF] 切り換え、撮影の開始 / 終了、ズーム操作などを繰り返した場合は、記録可能時間が短くなります。

■ 充電について

充電時間	約130 分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

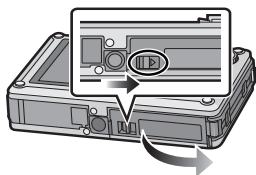
充電が正しく完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。
別売のバッテリーパック（DMW-BCF10）の充電時間と**記録可能枚数**は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

お知らせ

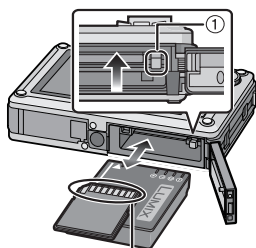
- バッテリーは、充電回数が増えると、使用時間が短くなり、膨らむ特性を持っています。長く使用するためには、頻繁な継ぎ足し充電を避けてお使いいただくことをおすすめします。
- **スキー場などの低温下**では、液晶モニターに残像が出る場合があります。また、使用時間が短くなる、撮影枚数が少なくなるなど、バッテリーの性能が一時的に低下する場合がありますので、この場合は予備のバッテリーをお買い求めいただくことをおすすめします。（P143）

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- **異物が付着していないことを確認する。(P11)**
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 開閉レバーを[▶] 側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー:

向きに気をつけて、①のレバーでロックされるまで入れる

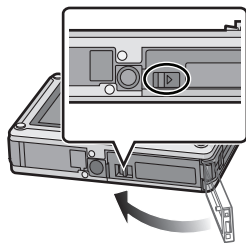
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:

向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる

取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 カード/バッテリー扉を「カチッ」と音がするまで押して閉じる

- カード/バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。
- 開閉レバーの赤い部分が見えなくなっていることを確認してください。

お知らせ

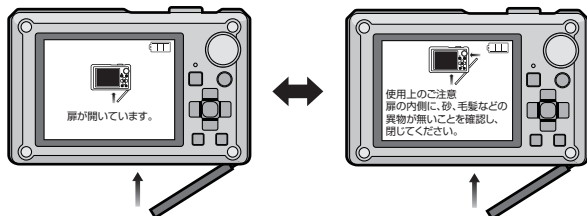
- 使用後は、バッテリーを取り出して、バッテリーケース(付属)に収納してください。
- 液晶モニターや動作表示ランプ(緑)が点灯した状態でバッテリーを取り出さないでください。カメラの設定が正しく保存されない可能性があります。
- 付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーは当社製のものをお使いください。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

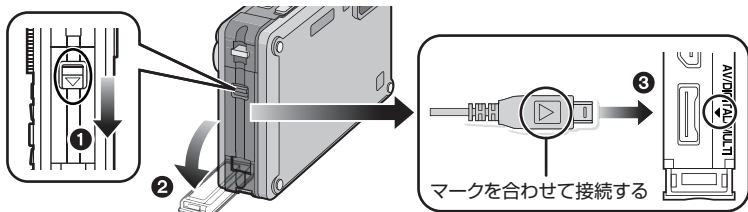
バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す（つづき）

■ カード / バッテリー扉について

カード / バッテリー扉が開いている状態で電源を入れると、浸水防止のため警告音が鳴り、液晶モニターに下記のメッセージが表示されます。(P134)
カード/バッテリー扉が開いている場合、本機を操作することはできません。(電源ボタンのみ操作できます)異物を挟み込まないよう、しっかりと閉じてください。

- 端子カバーが開いている場合はメッセージは表示されません。また、本機を操作することができますが、ご使用の前には異物を挟み込まないよう、しっかりと閉じてください。

異物が付着している場合は、付属のブラシで取り除いてください。

■ バッテリーの代わりに AC アダプター(別売)および マルチ変換アダプター(別売)を接続する

AC アダプター(別売:DMW-AC5)およびマルチ変換アダプター(別売:DMW-MCA1)は必ずセットでお買い求めください。AC アダプター(別売)は単独では使用できません。また、接続のしかたについては、マルチ変換アダプター(別売)の説明書もお読みください。

❶ 開閉レバーを [▼] 側にスライドさせる
❷ 端子カバーを開く
❸ マルチ変換アダプターを向きに気をつけて接続する
- 必ず本機専用のAC アダプターおよびマルチ変換アダプターを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

❹ AC アダプターの電源コードをコンセントにつなぐ
❺ AC アダプターをマルチ変換アダプターにつなぐ

お知らせ

- 別売品については、128 ページをお読みください。
- AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、AC アダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。十分に充電されたバッテリーと、AC アダプターを同時にお使いいただくことををおすすめします。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合:**
  内蔵メモリーで画像の記録・再生
- **カードを挿入している場合:**
  カードで画像の記録・再生

※メモ画像(P93)は、カードを挿入していても内蔵メモリーに保存されます。

内蔵メモリーの場合
IN ➔IN(アクセス表示※)
カードの場合
(アクセス表示※)
※アクセス表示は赤く点灯します。

内蔵メモリー

- **容量:約40 MB**
- **記録できる動画:QVGA(320×240画素)のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- 記録した画像はカードにコピーすることができます。(P113)
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機では、以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

カードの種類	特長
SDメモリーカード(8 MB~2 GB) (SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマット済み)	● 記録/読み出し速度が速い。 ● 書き込み禁止スイッチが付いています。(スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。) 書き込み禁止スイッチ
SDHCメモリーカード(4 GB ~ 32 GB)※ (SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマット済み)	
マルチメディアカード	● 静止画のみ対応。
miniSDカード	● 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。(アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、カードを入れてお使いください。)
microSDカード/microSDHCカード	

※2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
※SDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SDメモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(必ずお使いの機器の説明書をお読みください)
- 4 GB以上のカードはSDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
- 動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。

※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

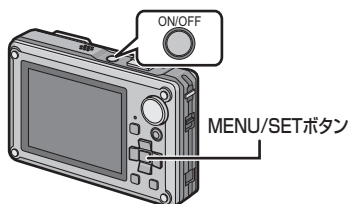
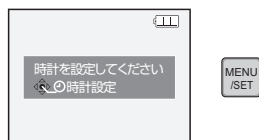
お知らせ

- **アクセス表示点灯中[画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット(P32)中など]は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。**
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P32)

時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源ボタンを押したままにする

- 「時計を設定してください」が表示されます。（再生モード時は表示されません）

2 [MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼ で設定する

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  (例:2009年12月1日10時00分)
  ・[年/月/日]:2009/12/ 1 10:00
  ・[日/月/年]:10:00 1/DEC/2009
  ・[月/日/年]:10:00 DEC/ 1/2009
- 時刻表示形式は[24時間]または[AM/PM]から選択します。
- [AM/PM] 表示に切り換えた場合は、AM/PM が表示されます。
- 時刻表示形式を[AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後0:00は PM12:00で表示されます。この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。
- [㎜] を押すと、時計を設定せずに中止します。

:ホームの時間
:旅行先の時間(P80)

表示順　時刻表示形式

4 [MENU/SET] を押して決定する

- 時計設定終了後、一度電源を入れ直して、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの [時計設定] を選び、▶ を押してください。(P24)

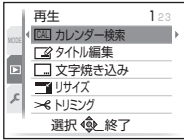
- 上記の手順**3**、**4** の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に 24 時間入れてください)**

お知らせ

- 撮影時に[DISPLAY]を数回押すと、時計が表示されます。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P104)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

準備

■ 再生時	■ 撮影時
[MODE](再生モード選択メニュー)(P43、96～99)	[📷](撮影メニュー)(P82～92)
● [お気に入り]設定した画像のみの再生やスライドショー再生など、再生方法を設定できます。 	● 色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[▶](再生メニュー)(P101～113)	[🎥](動画撮影メニュー)(P67～74)
● 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定(DPOF)など、撮影した画像に対して設定ができます。 	● 撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

[🔧](セットアップメニュー)(P26～32)
● 時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 ● [セットアップメニュー]は[撮影モード]、[再生モード]のどちらからでも設定できます。

お知らせ

● 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

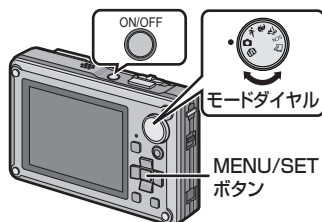
メニューを使って設定する（つづき）

メニュー項目の設定方法

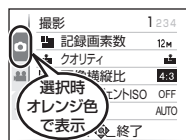
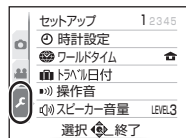
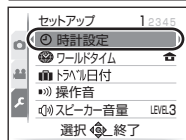
ここでは、通常撮影モードの設定方法を説明していますが、再生メニューやセットアップメニューも同じ方法で設定できます。
例）通常撮影モードで、[オートフォーカスモード]を[■]（1点）から[顔]（顔認識）に設定する

1 電源ボタンを押したままにする

2 モードダイヤルを [📷] に合わせる

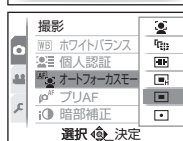
- 再生メニューを設定するときは、[▶] を押して、手順**3**へ進んでください。

3 [MENU/SET] を押してメニューを表示させる

- ズームレバーをスライドさせると、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

他のメニューとの切り換え
例）セットアップメニューとの切り換え **1　◀を押す** **2　▼でセットアップメニューアイコン [🔧] を選ぶ** **3　▶を押す** ● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

4 ▲/▼で[オートフォーカスモード]を選ぶ

●一番下の項目を選んで、さらに▼を押すと、2画面目に移ります。

5 ▶を押す

●項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

6 ▲/▼で[]を選ぶ

7 [MENU/SET]を押して決定する

8 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

●モードによっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で、クイックメニューが表示されるまで[Q.MENU]を押したままにする

2 ▲/▼/◀/▶で項目と設定内容を選び、[MENU/SET]を押して終了する

設定する項目と設定内容が表示されます。

Q.MENU

準備

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

- インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[操作音]のみ設定できます。

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
時計設定 日付や時刻を変更するときに設定します。	● 詳しくは、22 ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。	[旅行先]: 旅行先の地域 ▶ [ホーム]: お住まいの地域 ● 詳しくは、80 ページをお読みください。
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定します。	[トラベル日付設定]: ▶ [OFF] [設定] [旅行先]: ▶ [OFF] [設定] ● 詳しくは、78 ページをお読みください。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[操作音音量]: [ ]: なし ▶ [ ]: 小 [ ]: 大 [シャッター音音量]: [ ]: なし ▶ [ ]: 小 [ ]: 大 [操作音音色]: ▶ [❶] [❷] [❸] [シャッター音音色]: ▶ [❶] [❷] [❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	▶ [LEVEL3] ● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。
液晶明るさ 液晶の明るさを7段階に調整します。	▶ [±0]

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ</th></tr>
<tr><td>LCD LCDモード

屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。</td><td>▶ [OFF]
[(オートパワーLCD)]:周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
[(パワーLCD)]: 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。

● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。
● 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。
● [オートパワーLCD]または[パワーLCD]時は記録可能枚数が減少します。
● 再生モードでは、[オートパワーLCD]は選択できません。</td></tr>
<tr><td>表示サイズ

一部のアイコンやメニュー画面の表示のサイズを変更します。</td><td>▶ [標準]:
[大]:</td></tr>
<tr><td>ガイドライン表示

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報をあわせて表示するかしないかを設定します。(P45)</td><td>[撮影情報]:
▶ [OFF]
[ON]

[パターン]:
▶ [田]
[⊠]

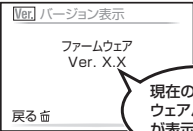
● インテリジェントオートモードまたはメモモード時は、[パターン]は[田]に固定されます。</td></tr>
</table>

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。(P46)	▶ [OFF] [ON]
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	▶ [OFF] [ON] ●動画記録枠表示は目安です。 ●インテリジェントオートモード時は設定できません。
ECOエコモード 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。	[**自動電源 OFF**]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [OFF] [2分] ▶ [5分] [10分] [**自動液晶OFF**]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。 ▶ [OFF] [15秒] [30秒] ●インテリジェントオートモードまたはメモモード時は、[自動電源 OFF]は[5分]に固定されます。 ●[自動液晶 OFF] を[15 秒]または[30 秒]に設定すると[自動電源 OFF]は[2 分]に固定されます。 ●液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。 ●メニュー操作や再生ズームなどの操作中は、[自動液晶 OFF] は働きません。 ●以下の場合、[自動電源 OFF]は働きません。 ・AC アダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・動画撮影 / 再生時　・スライドショー時 ・自動デモ ●以下の場合、[自動液晶 OFF]は働きません。 ・AC アダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・セルフタイマー設定時　・動画撮影時 ・メニュー画面表示中　・自動デモ

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[OFF] [1秒] ▶[2秒] [ホールド]：ボタンを押すまで表示 [ズーム]：　1秒表示後4倍拡大で1秒表示 ●オートブラケット撮影(P55)、シーンモードの[高速連写](P63)、[フラッシュ連写](P64)、[連写](P89)、音声付き静止画(P92)時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。(拡大はされません) ●インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。 ●動画撮影では働きません。
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	●フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。(P123) ●フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P32)することをおすすめします。 ●フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ●撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ●撮影設定をリセットすると、[個人認証] で登録したデータもリセットされます。 ●セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの [回転表示](P108)は [ON]、[お気に入り](P109)は[OFF]になります。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P61)、[ペット](P62)の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付](P78)の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム](P80)の設定内容 ●フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
USB USBモード USB接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	▶[**接続時に選択**]：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 [**PictBridge(PTP)**]：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [**PC**]：パソコンに接続する場合に設定します。 ● [PC]に設定すると、USBのMass Storage（マス ストレージ）通信方式で接続されます。 ● [PictBridge(PTP)]に設定すると、USBのPTP(Picture Transfer Protocol)（ピクチャー トランスファー プロトコル）通信方式で接続されます。
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。 （再生モードのみ）	▶[16:9]：画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]：画面が4:3のテレビと接続時 ● AV ケーブル接続時に働きます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ</th></tr>
<tr><td>HDMI HDMI出力解像度

HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI出力の映像方式を設定します。</td><td>▶ [AUTO]: 接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。
[1080i]: 有効走査線数 1080本のインターレース方式で出力します。
[720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。
[480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。

インターレース方式/プログレッシブ方式について
1/60秒ごとに有効走査線を半分に分けて交互に流すi=インターレース(飛び越し走査)に対し、1/60秒ごとに有効走査線を同時に流す高密度な映像信号をp=プログレッシブ(順次走査)といいます。
本機の[HDMI]端子はハイビジョン映像出力[1080i]に対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。

● [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080i]、[720p] または[480p] に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。
(テレビの説明書もお読みください)
● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。
● 詳しくは、115ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>VIERA Link ビエラリンク

本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。</td><td>[OFF]: 本機のボタンでの操作になります。
▶ [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません)
本機のボタンでの操作は制限されます。

● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。
● 詳しくは、116ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>SCN シーンメニュー

モードダイヤルをSCNに切り換えたときに表示される画面を設定します。</td><td>[OFF]: 現在選択されているシーンモードの撮影画面を表示
▶ [AUTO]: シーンモード(P57)の選択画面を表示</td></tr>
</table>

準備

セットアップメニューを使う（つづき）

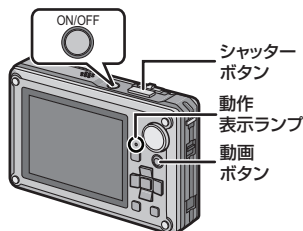
項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
Ver. バージョン表示 本体のファームウェアバージョンを確認できます。	Ver. バージョン表示 ファームウェア Ver. X.X 戻る 現在のファームウェアバージョンが表示されます
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびマルチ変換アダプター(別売)を使用し、フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。 ● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。 ● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
DEMO デモモード [手ブレ・動き検出デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ・動き検出デモ]** **[自動デモ]** [OFF] ▶ [ON]：本機の特長をスライドショーで表示 **[個人認証デモ]**： 店頭での専用被写体を使ったデモ用の機能です。 ● 再生モード時に[手ブレ・動き検出デモ]と[個人認証デモ]は表示できません。 ● [手ブレ・動き検出デモ]を終了する場合は、[DISPLAY]を押してください。 ● [自動デモ]を終了する場合は、[MENU/SET]を押してください。 ● [手ブレ・動き検出デモ]は目安です。 ● 再生モード時でも [自動デモ]はテレビ出力されません。 手ブレ・動き検出デモ 手ブレ検出デモ 動き検出デモ 撮影画面で表示することはできません 終了 DISPLAY

撮影モードを選び、静止画または動画を撮影する

1 電源ボタンを押したままにする

- 電源が入ると動作表示ランプが点灯します。（約 1 秒後に消灯）

2 モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

●の部分に使用したいモードを合わせる

撮影モード一覧

iA インテリジェントオートモード P35
カメラにおまかせで撮影します。

通常撮影モード P39
お好みの設定で撮影します。

スポーツモード P56
動きの速い場面に最適なモードです。
※動画撮影時は、通常の動画撮影になります。

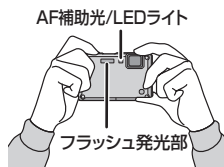
雪モード P56
スキー場や雪山などの雪を白く出すように撮影します。

ビーチ&サーフモード P56
水深3m以内の水中とビーチでの撮影に最適です。

SCN シーンモード P57
撮影シーンに合わせて撮影します。

メモモード P93
メモとして撮影します。
※動画撮影はできません。

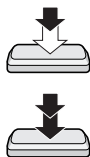
■ 本機の構えかたについて

- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部や AF 補助光 /LED ライトを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。（P143）

準備
基本

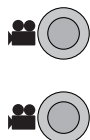
撮影モードを選び、静止画または動画を撮影する（つづき）

モードダイヤルを設定したあと、静止画を撮影する

1 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

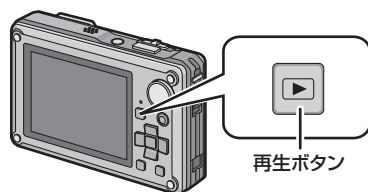
2 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

モードダイヤルを設定したあと、動画を撮影する

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

2 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

■ **詳しくは、67 ページ「動画を撮る」をお読みください。**

撮影した静止画または動画を再生する

1 [▶] を押す

2 ◀/▶ で画像を送る

■ **詳しくは、42 ページ「画像を見る」、100 ページ「動画 / 音声付き静止画を見る」をお読みください。**

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別／手ブレ補正／インテリジェントISO／顔認識／クイックAF／暗部補正／デジタル赤目補正／逆光補正

1 モードダイヤルを［iA］に合わせる

2 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ピントが合う範囲は5 cm（W端時）/30 cm（T端時）～∞です。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。

3 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P21）が赤く点灯します。

■ フラッシュを使って撮影するときは（P47）

■ ズームを使って撮影するときは（P41）

■ 動画を撮影するときは（P67）

カメラにおまかせで撮る（つづき）

撮影モード：[iA]

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

i人物	i風景	iマクロ
i夜景&人物 ・[⚡A]選択時のみ	i夜景 ・[⊛]選択時のみ	i赤ちゃん※

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 追尾AF時（P37）は、AFロックした被写体に最適なシーンを判別します。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。

※[個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

■ 顔認識について

[ ]、[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。（P87）

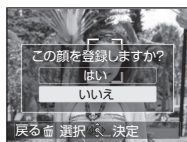
お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗／被写体の大きさ／被写体までの距離／被写体の濃淡／被写体が動いている場合／ズーム倍率
  - ・撮影条件
    夕暮れ／朝焼け／低照度／水中／手ブレが発生した場合
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- 水中では顔の検知が遅くなる、または検知しない場合があります。

■ 逆光補正について

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより自動で逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

個人認証について

よく撮る人の顔を名前や誕生日などの情報とともに登録することができます。
[個人認証]を[ON]に設定して撮影すると、登録した顔に近い顔を見つけて優先的にピントや露出を合わせます。また、顔認識時にカメラに人の顔を記憶させ、撮影回数の多い顔を自動的に検出して顔登録画面を表示させることもできます。(P75)

お知らせ

- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 顔の特徴が似ている親子･兄弟姉妹などは正しく認証されない場合があります。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。

追尾AF

AFロックした被写体が動いても自動でピントを合わせ続けることができます。

1 ▲を押す

- 画面左上に[ ]が表示されます。
- 画面中央に追尾AF枠が表示されます。
- もう一度▲を押すと、追尾AFは解除されます。

2 被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押して被写体にAFロックする

- 追尾AF枠が黄色に変わります。
- AF ロックした被写体に最適なシーンを判別します。
- もう一度 ▼ を押すと、AF ロックは解除されます。

お知らせ

- 追尾 AF 時 [個人認証] は働きません。
- 87 ページの追尾AF のお知らせをお読みください。

基本

カメラにおまかせで撮る（つづき）

撮影モード：iA

フラッシュについて

- [⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]になります。
- [i⚡A◎]または[i⚡S◎]の場合は、デジタル赤目補正(P48)が働き、フラッシュが2回発光します。

インテリジェントオートモード時の設定内容

- 以下の機能のみ設定できます。

静止画撮影メニュー

・[記録画素数]※1(P82)/[連写](P89)/[カラーモード]※1(P90)/[個人認証](P75)

※1 他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。

動画撮影メニュー

・[撮影モード](P70)/[画質設定]※2(P70)/[カラーモード]※2(P90)/[LEDライト](P74)

※2 他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。

セットアップメニュー

・[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]

- 以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
ガイドライン表示(P27)	⊞([撮影情報]は[OFF])
エコモード(自動電源OFF)(P28)	5分
オートレビュー(P29)	2秒
フラッシュ(P47)	⚡A/⊗
セルフタイマー(P53)	10秒/OFF
風音低減(P73)	OFF
クオリティ(P83)	▪▴▪
インテリジェントISO(P83)	ISOMAX 1600
ホワイトバランス(P84)	AWB
オートフォーカスモード(P86)	☺(顔が認識されないときは[▦]※3)
プリAF(P88)	Q·AF
暗部補正(P88)	ON
手ブレ補正(P91)	AUTO※4
AF補助光(P92)	ON

※3 動画撮影時、顔が認識されないときは[▪]に固定

※4 動画撮影時は[MODE 1]に固定

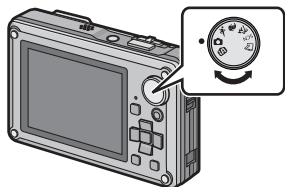
- 以下の機能は使えません。
  ・[自動液晶OFF]/露出補正/オートブラケット/ホワイトバランス微調整/[デジタルズーム]/[音声記録]/[下限シャッター速度]/[ヒストグラム表示]
- セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定することができます。設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

お好みの設定で撮る（[カメラ]：通常撮影モード）

撮影モード：[カメラ]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。
撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを［[カメラ]］に合わせる

- 撮影時の設定を変更したいときは、82ページの「撮影メニューを使う」をお読みください。

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ピントが合う範囲は30 cm～∞です。
- さらに近づいて撮影するときは、51ページの「近づいて撮る（AF マクロ撮影 / ズームマクロ撮影）」をお読みください。

4 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P21）が赤く点灯します。

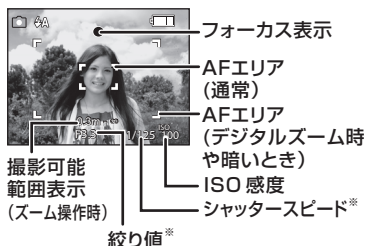
■ **画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには（P54）**

■ **画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには（P84）**

■ **動画を撮影するときは（P67）**

お好みの設定で撮る（つづき）

撮影モード：[カメラアイコン]

ピントの合わせかた

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

※ 適正露出にならないときは、赤くなります。
（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

ピントが合わないとき（被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど）

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
2 **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

- 手順**1**の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。(P86)

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの／撮影可能範囲表示が赤く表示されているとき／ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき／暗いときや手ブレしているとき／被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正(P91)、三脚、セルフタイマー(P53)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモード(P57)の[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]
  - ・[下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P108)を[ON]に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

ズームを使って撮る

撮影モード：iA ● ▲ ● ▲ SCN ▲（iA、▲、▲ 時はデジタルズーム設定不可）

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/デジタルズームで撮る

風景などを広く（広角）撮ったり人や物を大きく（望遠）撮ることができます。さらに大きく（最大 9.1 倍）撮るには、各画像横縦比（4:3/3:2/16:9）で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。
また、撮影メニューで[デジタルズーム]を[ON]に設定すると、より拡大が可能になります。

大きく撮るには（望遠）
ズームレバーをT側へスライドさせる

広く撮るには（広角）
ズームレバーをW側へスライドさせる

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)	デジタルズーム
最大倍率	4.6 倍	9.1 倍※	18.6倍（光学ズーム4.6倍含む） 36.3 倍（EX光学ズーム9.1 倍含む）
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	なし	EZ 付きの記録画素数（P82）を選ぶ	撮影メニューの[デジタルズーム]（P90）を[ON]に設定する
画面表示	W T	EZを表示 EZ W T	デジタルズーム領域を表示 W T EZ W T

● ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。（例：0.3 m－∞）

※ 記録画素数や画像横縦比により変わります。

■ EX光学ズームの仕組み

例えば[3M]（300万画素相当）に設定すると、CCDの持つ12M（1210万画素相当）の領域のうち、3M（300万画素相当）分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

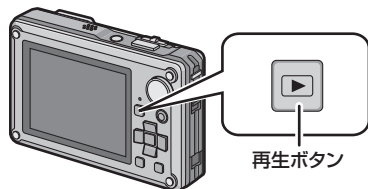
お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- 電源[ON]時はW端（1倍）です。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]
  - ・動画撮影時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・シーンモードの[変身]、[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]、[ペット]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]
  - ・[インテリジェントISO]設定時

画像を見る（通常再生）

再生モード：▶

1 [▶] を押す

● モードダイヤルが[メモ]のときは、メモ画像が表示されます。メモ再生については、94ページの「メモ画像を見る（メモ再生）」をお読みください。

2 ◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　▶：次の画像へ

● 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。

■ 早送り / 早戻しをするには

再生中に ◀/▶ を押したままにする

◀：早戻し　▶：早送り

● ファイル番号と画像番号のみが1枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。

● 押し続けると、送る枚数が増加します。

■ 再生を終了するには

再度 [▶] を押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを [▦]（W）側にスライドさせる

1画面⇨12画面⇨30画面⇨
カレンダー検索（P101）

● ズームレバーを[Q]（T）側にスライドさせると、1つ前に戻ります。

● 回転表示はされません。

■ 1画面表示に戻すには

1　▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ

● 撮影画像や設定によって、アイコンが表示されます。

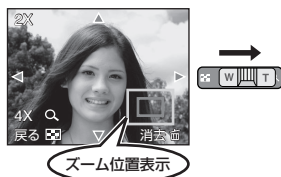
2　[MENU/SET] を押す

● 選択されていた画像が表示されます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

ズームレバーを[Q]（T）側にスライドさせる

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを[■]（W）側にスライドさせると、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置が表示されます。

お知らせ

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。（P107）
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- 動画再生時または音声付き静止画再生時は再生ズームは使えません。

基本

再生モードを切り換えるには

1 **再生時に[MENU/SET]を押す**

2 **▶を押す**

3 **▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す**

再生モード
通常再生
スライドショー
モード別再生
カテゴリー再生
★ お気に入り再生
選択 決定

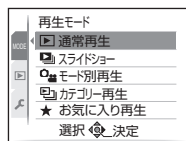
MENU /SET

[通常再生]（P42）
すべての画像を再生します。

[スライドショー]（P96）
画像を順番に再生します。

[モード別再生]（P98）
[静止画]、[AVCHD Lite]※または[MOTION JPEG]を選び、再生することができます。
※高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。

[カテゴリー再生]（P98）
カテゴリーで分類した画像を再生します。

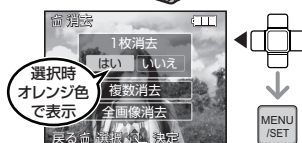
[お気に入り再生]（P99）※
お気に入りの画像を再生します。
※[お気に入り]を設定していないときは、[お気に入り再生]は表示されません。

画像を消去する

再生モード：▶

画像は一度消去すると元に戻すことができません。
- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1枚消去

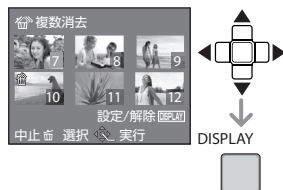
1 消去する画像を選び、[🗑]を押す

2 ◀で[はい]を選び、
[MENU/SET]を押す

複数(50枚まで)/全画像消去

1 [🗑]を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]を押す
- [全画像消去]→手順**5**へ

3 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、
[DISPLAY]で設定する(繰り返す)
- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

DISPLAY

4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

■[お気に入り](P109)設定時に[全画像消去]を選んだときは

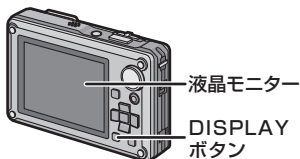
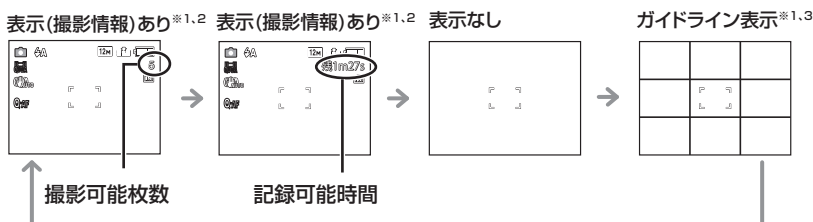
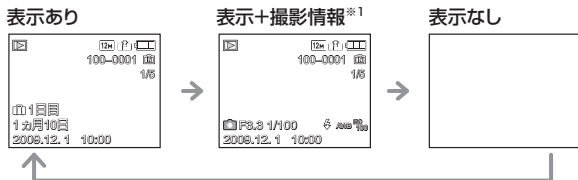
再度、選択画面が表示されます。[全画像消去]または[★以外全消去]を選び、▲で[はい]を選んで画像を消去してください。([お気に入り] 設定した画像がない場合は、[★以外全消去]を選択できません)

お知らせ

- 消去中([🗑]表示中)は電源を[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびマルチ変換アダプター(別売)を使用してください。
- [複数消去]、[全画像消去]または[★以外全消去]中に[MENU/SET]を押すと、途中で消去が中止されます。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定(P111)された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

液晶モニターの表示を切り換える

[DISPLAY]を押して切り換える

● メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。
再生ズーム時(P43)、動画再生中(P100)、スライドショー中(P96)は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※1 セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
※2 [DISPLAY]を押すと撮影可能枚数と記録可能時間の表示が切り換わります。
※3 セットアップメニューの[ガイドライン表示]で、表示するガイドラインのパターンを設定できます。また、ガイドライン表示時に、撮影情報を合わせて表示する/表示しないを設定できます。

お知らせ

● シーンモード(P57)の[夜景&人物]、[夜景]、[星空]、[花火]では、ガイドラインはグレーで表示されます。

基本

応用・撮影

液晶モニターの表示を切り換える（つづき）

■ ガイドライン表示について

[ ]選択時

[ ]選択時

被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

- ：画面全体を3等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。
- ：画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。

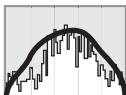
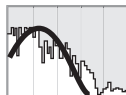
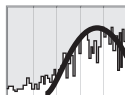
■ ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

ヒストグラムの表示例

❶ 適正な明るさの画像

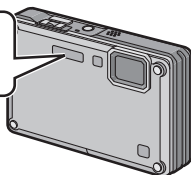
ヒストグラム

❷ 暗い画像

❸ 明るい画像

お知らせ

- **フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・動画撮影時
  - ・メモモード
  - ・HDMI ケーブル接続時
  - ・マルチ再生
  - ・再生ズーム
  - ・カレンダー検索

フラッシュを使って撮る

撮影モード：

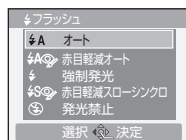
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶(⚡)を押す

2 ▲/▼でモードを選ぶ

- ▶(⚡)でも選ぶことができます。
- 選択できるフラッシュ設定については、48ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。

フラッシュ
A オート
赤目軽減オート
強制発光
赤目軽減スローシンクロ
発光禁止
選択 決定

3 [MENU/SET]を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
⚡A: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎: 赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ●暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
⚡: 強制発光 ⚡◎: 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 **●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** **●シーンモード(P57)の[パーティー]、[キャンドル]時のみ、[⚡◎]になります。**
⚡S◎: 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 **●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊛: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 **●フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

■ デジタル赤目補正について

赤目軽減（[⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎]）選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

※赤目の状態によっては補正できない場合があります。また、目以外の物が補正される場合があります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
	○※	×	×	×	×	○
	○	○	○	○	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	◎	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	◎	○	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
	×	×	×	○	○	◎
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	×
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	○	×	○	×	×	○

※[⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]になります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶しています。シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
AUTO	約30 cm～約5.1 m	約30 cm～約 2.8 m
ISO80	約30 cm～約1.4 m	約30 cm～約 80 cm
ISO100	約30 cm～約1.6 m	約30 cm～約 90 cm
ISO200	約40 cm～約 2.3 m	約40 cm～約 1.2 m
ISO400	約60 cm～約 3.2 m	約60 cm～約 1.8 m
ISO800	約80 cm～約 4.6 m	約60 cm～約 2.5 m
ISO1600	約1.15 m～約 6.5 m	約90 cm～約 3.6 m

- シーンモードの[高感度](P62)では、[ISO1600]～[ISO6400]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時:約 1.15 m～約 13.0 m　T端時:約90 cm～約7.3 m
- シーンモードの[フラッシュ連写](P64)では、[ISO100]～[ISO3200]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時:約30 cm～約 3.4 m　T端時:約 30 cm～約 1.9 m

■ インテリジェントISO設定時のフラッシュ撮影可能範囲

最高ISO感度 (P83)	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
ISOMAX 400	約 60 cm～約 3.2 m	約 60 cm～約 1.8 m
ISOMAX 800	約 80 cm～約 4.6 m	約 60 cm～約 2.5 m
ISOMAX 1600	約1.15 m～約 6.5 m	約 90 cm ～約 3.6 m

フラッシュを使って撮る (つづき)

撮影モード: [iA][カメラ][スポーツ][雪][ビーチ&サーフ][SCN][クリップボード]

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/30～1/1300秒※1
⚡A👁	
⚡	
⚡👁	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S👁	1～1/1300秒※1 1～または1/4～1/1300秒※2
⊘	

※1 [下限シャッター速度]設定(P91)によって変わります。
※2 [インテリジェントISO]設定時(P83)

- ※2でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- スポーツモード、雪モード、ビーチ&サーフモード、シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。また、**[自動液晶OFF]を設定しているときは、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。**
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

近づいて撮る（AF マクロ撮影 / ズームマクロ撮影）

撮影モード：📷

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから5 cmまで接近して撮影できます。（AFマクロ撮影）
W端の距離（5 cm）のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影することもできます。（ズームマクロ撮影）

1 ▼（🌷）を押す

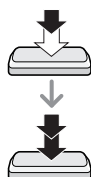
2 ▲/▼ でマクロ撮影モードを選ぶ

3 [MENU/SET] を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

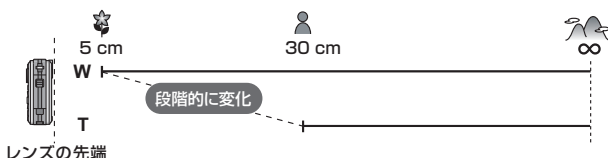
4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- AFマクロ撮影時は[AF🌷]、ズームマクロ撮影時は[🔍] が表示されます。
- 解除するには手順**2**で[OFF]を選んでください。
- ズーム操作時は、ズーム領域と撮影可能範囲、ズーム倍率が表示されます。ズームマクロ時のズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。

撮影可能範囲表示

応用・撮影

近づいて撮る（つづき）

撮影モード：[カメラアイコン]

■ AF マクロ撮影時のピントの合う範囲（撮影可能範囲）

- ズームマクロ撮影時は、ズームの位置にかかわらず、ピントの合う範囲は5 cm～∞になります。

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⚡]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が30 cm以上離れている場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- ズームマクロで撮影すると、通常撮影時よりも画質が劣化します。
- ズームマクロ設定時、EX光学ズームは働きません。
- [オートフォーカスモード]の [[アイコン]] 設定時はズームマクロ撮影できません。
- ズームマクロ時、[インテリジェント ISO] は働きません。

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード：[iA][●][スポーツ][子供][ビーチ][SCN][動画]

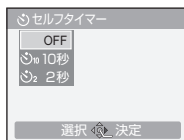
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

1 ◀(セルフタイマー)を押す

2 ▲/▼ で時間を選ぶ

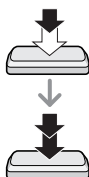
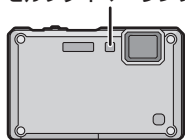
- ◀(セルフタイマー)でも選ぶことができます。

3 [MENU/SET] を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に[MENU/SET]を押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

セルフタイマーランプ

応用・撮影

お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光(P92)として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [連写]の撮影枚数は、3枚に固定されます。
- シーンモードの [フラッシュ連写] の撮影枚数は、5 枚に固定されます。
- インテリジェントオートモード時は2秒に設定できません。
- シーンモードの [自分撮り] 時、メモモード時は10秒に設定できません。
- 以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
  - ・シーンモードの [高速連写]、[水中]
  - ・動画撮影時

露出を補正して撮る

撮影モード：

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 ▲( )を押し、[露出補正]を表示させ、◀/▶で露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、"0 EV"を選んでください。

2 [MENU/SET]を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

１回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に３枚撮影します。露出が異なる３枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目

±0EV

2枚目

−1EV

3枚目

＋1EV

1 ▲()を数回押し、[オートブラケット]を表示させ、◀/▶ で露出の補正幅を設定する

● オートブラケット撮影をしない場合は、“0”(OFF)を選んでください。

2 [MENU/SET]を押して終了する

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

● オートブラケットを設定すると、画面に[ ]が表示されます。
● 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
● 電源を[OFF](自動電源 OFF モードを含む)にするとオートブラケットの設定が解除されます。
● オートブラケットを設定すると、[オートレビュー]の設定にかかわらずオートレビューされます。(拡大はされません)セットアップメニューで[オートレビュー]の設定はできません。
● 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
● **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
● **オートブラケットを設定すると、連写は解除されます。**
● 以下の場合、**オートブラケット**の設定はできません。
・シーンモードの [変身]/[パノラマアシスト]/[高速連写]/[フラッシュ連写]/[星空]/[ピンホール]/[サンドブラスト]
・動画撮影時

アウトドアシーンを表情豊かに撮る

撮影モード：[スポーツ][雪][ビーチ＆サーフ]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

モードダイヤルを［スポーツ］、［雪］、［ビーチ＆サーフ］に合わせるとスポーツ、雪、ビーチ & サーフなどの撮影状況に合わせてより効果的な撮影ができます。

お知らせ

- モードを変更すると、モードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- 用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。

スポーツモード

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。

お知らせ

- **動画撮影時は、通常の動画撮影になります。**
- 5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。
- スポーツモードでは自動的に [暗部補正] が働きます。
- [インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は [ISO1600]になります。
- シャッタースピードは 1 ～ 1/1300 になります。

雪モード

スキー場や雪山などの雪を白く出すように撮影できます。

お知らせ

- （重要）浸水を防ぐために、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、カード / バッテリー扉や端子カバーを「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。また、あらかじめ 11 ページの「（重要）本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。
- シャッタースピードは 1/8 ～ 1/1300 になります。

ビーチ & サーフモード

水深 3 m 以内の水中とビーチでの撮影に最適です。

ホワイトバランス微調整について

水深や天候に応じて、色合いを調整することができます。

1 ▲（[露出補正]）を3回押し、[[WB±]WB微調整] を表示させる

2 ◀/▶ でホワイトバランスを調整する

◀：赤（青みが強い場合）
▶：青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0” を選んでください。

3 [MENU/SET] を押して終了する

- ホワイトバランスを調整すると、画面に赤または青で[AWB]が表示されます。

お知らせ

- （重要）浸水を防ぐために、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、カード / バッテリー扉や端子カバーを「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。また、あらかじめ 11 ページの「（重要）本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。
- ご使用後は、浅い容器にためた真水の中で 10 分以内でつけ置きしたあと、柔らかい乾いた布でふき取ってください。（P12）
- オートフォーカスモードの初期設定は [[■]]になります。
- 自動的に [暗部補正] が働きます。
- シャッタースピードは 1/8 ～ 1/1300 になります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

撮影モード：SCN

▲/▼/◄/►はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 ▲/▼/◄/►でシーンモードを選ぶ

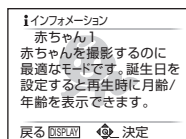
- ズームレバーをスライドさせると、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

3 [MENU/SET]を押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

■ iインフォメーションについて

- 手順**2**でシーンモードを選んだときに[DISPLAY]を押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。（もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります）

iインフォメーション
赤ちゃん1
赤ちゃんを撮影するのに最適なモードです。誕生日を設定すると再生時に月齢/年齢を表示できます。
戻る DISPLAY 決定

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押したあとに►を押して、上記手順**2**に戻ります。
- シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[インテリジェントISO]、[ISO感度]、[暗部補正]、[カラーモード]、[下限シャッター速度]の設定はできません。
- 以下のシーンモードでは、自動的に[暗部補正]が働きます。
  ・[人物]/[美肌]/[変身]/[自分撮り]/[風景]/[夜景&人物]/[パーティー]/[キャンドル]/[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[夕焼け]/[高感度]/[フラッシュ連写]
- [夜景&人物]、[夜景]、[キャンドル]、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]以外のシーンモードのシャッタースピードは1/8～1/1300秒になります。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定･お知らせ
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。(胸から上を撮りたいときに効果的です）	**撮影のテクニック** ●ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ●背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。
変身 スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。	**変身レベル設定** **1　▲/▼で変身のレベルを選び、[MENU/SET]を押す** ●クイックメニュー(P25)でも、設定の変更ができます。 変身 スリム弱 選択 決定 **2　撮影する** ●[記録画素数]と[画像横縦比]は以下のように固定されます。 ・4:3 のとき[3M]、3:2 のとき[2.5M]、16:9 のとき[2M] ●[クオリティ]は自動で[ ]になります。 ●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。 ●[スリム強]または[グラマラス強]に設定時、顔認識が働きにくくなります。 ●個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。 ●公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。 ●被写体の利益を損なうような利用はしないでください。
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ●シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ●セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ●撮影後は自動的にレビューされます。 ●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。 ●ピントが合う範囲は約30 cm～約 1.2 mです。 ●音声付きで自分撮りすることができます。(P92)このとき、音声記録中にセルフタイマーランプが点灯します。 ●選択すると、ズームは自動的にW端の位置へ移動します。 ●セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。[2秒]に設定すると、電源を[OFF]にするかシーンモードや撮影モード、再生モードを切り換えるまで、セルフタイマーの[2秒]設定は保持されます。 ●[手ブレ補正]は[MODE2]に固定されます。(P91) ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。

項目	設定･お知らせ
風景 広がりのある風景を撮影できます。	●**フラッシュは[⊛]になります。** ●ピントが合う範囲は5 m～∞です。
パノラマアシスト パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。	**撮影する方向の設定** **1　▲/▼で撮影する方向を選び、[MENU/SET] を押す** ●水平 / 垂直ガイドが表示されます。 **2　撮影する** ●[撮り直し] を選ぶと、撮影をやり直すことができます。 **3　▲ で [次の撮影] を選び、[MENU/SET] を押す** ●シャッターボタン半押しでも決定できます。 ●撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。 **4　透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する** ● 3 枚目以降を撮影するときは、手順 **3**、**4** を繰り返してください。 ●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。 **5　▲/▼で [完了] を選び、[MENU/SET] を押す。** ●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。** ●**フラッシュは[⊛] になります。** ●ピント･ズーム･露出･ホワイトバランス･シャッタースピード･ISO感度は、1 枚目の設定に固定されます。 ●撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約 8 秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ●三脚の使用をおすすめします。 ●撮影した画像は CD-ROM(付属)のソフトウェア「ArcSoft Panorama Maker」を使ってパノラマ画像に合成することができます。

撮影シーンに合わせて撮る（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
夜景&人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]に設定できます)** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 …………………… ● **動画撮影時は、ローライト動画になります。** ● ピントが合う範囲は90 cm(W端時)/1.2 m(T端時)～5 mです。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大 8 秒になります。三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 …………………… ● **動画撮影時は、ローライト動画になります。** ● **フラッシュは[ ]になります。** ● ピントが合う範囲は5 m～∞です。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	● ピントが合う範囲は 5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]または[ ]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 …………………… ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。

項目	設定・お知らせ
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ●フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ●ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。 ●撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約1秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
赤ちゃん1/ 赤ちゃん2 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。 [赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P104)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** **1 ▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶を押す** **2 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す** **3 誕生日/名前を入力する** 誕生日：◀/▶：項目(年・月・日)選択、 ▲/▼：設定、 [MENU/SET]：終了 名前：文字入力の方法については102ページの[タイトル編集]をお読みください。 ●誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ●誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 (画面表示: 赤ちゃん1 / 月齢/年齢 / 名前 / OFF / ON / 設定 / 選択 決定) **4 [MENU/SET]を押して終了する** **月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには** 「誕生日/名前を設定する」の手順**2**で[OFF]に設定してください。 ●**動画撮影時は [人物] に設定されます。** ●CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。 ●誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 撮影前に[月齢/年齢]または[名前]を[ON]にしてください。 ●ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。 ●[インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。 ●起動した場合に約5秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。 ●月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。 ●[設定リセット]で誕生日設定と名前設定のリセットができます。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ●[LED ライト]は[ ]に固定されます。

撮影シーンに合わせて撮る（つづき）

撮影モード : SCN

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定･お知らせ
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P104)で撮影画像に焼き込むことができます。	[月齢/年齢]、[名前]については、上記の[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。 ●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。** ●[AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ●その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	●**フラッシュは[ ]になります。**
高感度 薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。(高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から [ISO6400]の間で変化します)	**記録画素数･画像横縦比設定** **1　▲/▼で記録画素数･画像横縦比を選び、[MENU/SET]を押す** ●記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。 **2　撮影する** ●[クオリティ]は自動で[ ]になります。 ●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ●ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>高速連写

高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。</td><td>記録画素数・画像横縦比設定
1 ▲/▼で [速度優先] または [画質優先] を選び、[MENU/SET] を押す
2 ▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET] を押す
●記録画素数は 3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。
3 撮影する
●シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。
最高連写速度: 約 10 コマ/秒([速度優先] 選択時)
約 6 コマ/秒([画質優先] 選択時)
連写枚数: 約 15 枚(内蔵メモリー)、
約 15 枚〜 100枚※(カード)
※最大 100 枚となります。
●連写速度は、撮影条件によって変化します。
●連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。
●フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。

●動画撮影時は、通常の動画撮影になります。
●フラッシュは[]になります。
●[クオリティ]は自動で[]になります。
●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
●ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)〜∞です。
●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。
●[ISO感度]は以下のように自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。
・[速度優先] 選択時:[ISO200] 〜 [ISO1600] の間で調整
・[画質優先] 選択時:[ISO500] 〜 [ISO800] の間で調整
●撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。</td></tr>
</table>

撮影シーンに合わせて撮る（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>フラッシュ連写

フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。</td><td>記録画素数・画像横縦比設定
1 ▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET]を押す
●記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。
2 撮影する
●シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。
連写枚数：最大５枚
●動画撮影時は、通常の動画撮影になります。
●[クオリティ]は自動で[ ]になります。
●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
●シャッタースピードは1/30～1/1300秒になります。
●ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
●ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1枚目の設定に固定されます。
● ISO感度は自動的に[ISO100]～[ISO3200]の間で変化します。
●[フラッシュ連写]を使うときは、50ページのお知らせをお読みください。</td></tr>
<tr><td>星空

星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。</td><td>シャッタースピード設定
シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。
1 ▲/▼で秒数を選び、[MENU/SET]を押す
●クイックメニュー(P25)でも、秒数の変更ができます。
2 撮影する
●シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
15
中止
●撮影中に[MENU/SET]を押すと、撮影が中止されます。
撮影のテクニック
● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
●動画撮影時は、ローライト動画になります。
●フラッシュは[ ]になります。
●[手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。
●[ISO感度]は[ISO80]に固定されます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>花火

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。</td><td>撮影のテクニック
●シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。
……………………
●動画撮影時は、通常の動画撮影になります。
●フラッシュは[⊛]になります。
●被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。
●シャッタースピードは以下のようになります。
・手ブレ補正[OFF] 設定時：2秒
・手ブレ補正 [AUTO]、[MODE1] または [MODE2] 設定時：1/4秒または2秒（シャッタースピードが2秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです）
・露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。
●AFエリアは表示されません。
●[ISO感度]は[ISO80]に固定されます。</td></tr>
<tr><td>空撮

飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。</td><td>撮影のテクニック
●雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。
……………………
●フラッシュは[⊛]になります。
●ピントが合う範囲は5 m～∞です。
●離着陸時は電源を[OFF]にしてください。
●ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。
●窓への映り込みにお気をつけください。</td></tr>
<tr><td>ピンホール

被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。</td><td>記録画素数・画像横縦比設定
1 ▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET]を押す
●記録画素数は 3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。
2 撮影する
……………………
●右のような画像を撮影できます。
●[クオリティ]は自動で[⁂]になります。
●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
●ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
●画面周辺の暗い部分では、顔認識機能(P87)が正常に働かない場合があります。</td></tr>
</table>

撮影シーンに合わせて撮る（つづき）

撮影モード : SCN

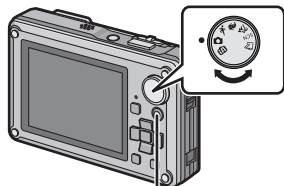
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
サンドブラスト 砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。	**記録画素数・画像横縦比設定** **1　▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET] を押す** ● 記録画素数は 3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。 **2　撮影する** ● 右のような画像を撮影できます。 ● [クオリティ]は自動で[]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● [ISO感度]は[ISO1600]に固定されます。 ● ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
水中 マリンケース(別売:DMW-MCFT1)を使用して、水深 3.0 m 以上での水中撮影をするときに最適です。 ※本機は、JIS 保護等級 IP58 相当の防水 / 防じん性能があります。水深 3.0 m/60 分までの撮影が可能です。	**ピントを固定するには(AFロック)** AFロックを使うと、あらかじめピントを固定して撮影することができます。動きの速い被写体を撮影するときなどに便利です。 **1　被写体にAFエリアを合わせる** **2　◀を押し、ピントを固定する** ● ピントが合ったあと、AFロックアイコンが表示されます。 ● もう一度◀を押すと、AFロックは解除されます。 ● AFロック後にズーム操作を行った場合は、AFロックは解除されますので、再度AFロックをやり直してください。 ● [オートフォーカスモード]を[]に設定している場合は、AFロックを設定できません。 AFロックアイコン **ホワイトバランス微調整について** 水深や天候に応じて、色合いを調整することができます。 **1　▲()を3回押し、[WB微調整] を表示させる** **2　◀/▶ でホワイトバランスを調整する** ◀:赤(青みが強い場合) ▶:青(赤みが強い場合) ● ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0” を選んでください。 **3　[MENU/SET] を押して終了する** ● ホワイトバランスを調整すると、画面に赤または青で[AWB]が表示されます。 ● 浸水を防ぐために、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、カード / バッテリー扉や端子カバーを「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。また、あらかじめ「(重要)本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について」(P11)をお読みください。 ● ご使用後は、浅い容器にためた真水の中で 10 分以内でつけ置きしたあと、柔らかい乾いた布でふき取ってください。(P12) ● ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。 ● [LED ライト] は [ ] に固定されます。 ● [AF 補助光] は [OFF] に固定されます。

動画を撮る

撮影モード：

AVCHD 規格に準拠したハイビジョン映像などが撮影できます。（P70）

1 モードを選ぶ

■ 動画撮影できるモードについて

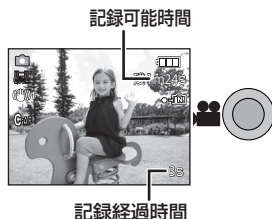
項目	設定・お知らせ
インテリジェントオートモード	インテリジェントオート動画
通常撮影モード	通常動画
スポーツモード	通常動画
雪モード	雪動画
ビーチ & サーフモード	ビーチ & サーフ動画
シーンモード	シーン動画 ●一部のシーンモードでは、以下のような分類で撮影されます。 ［赤ちゃん 1］、［赤ちゃん 2］→人物モード ［夜景& 人物］、［夜景］、［星空］→ローライトモード ［高速連写］、［フラッシュ連写］、［花火］、［パノラマアシスト］、［ペット］→通常動画 ●上記以外では、それぞれのシーンに合った動画撮影ができます。（P57 ～ 66）

選択されているシーンモード	動画撮影時のシーンモード
［赤ちゃん 1］、［赤ちゃん 2］	人物モード
［夜景& 人物］、［夜景］、［星空］	ローライトモード
［高速連写］、［フラッシュ連写］、［花火］、［パノラマアシスト］、［ペット］	通常動画

動画を撮る（つづき）

撮影モード：

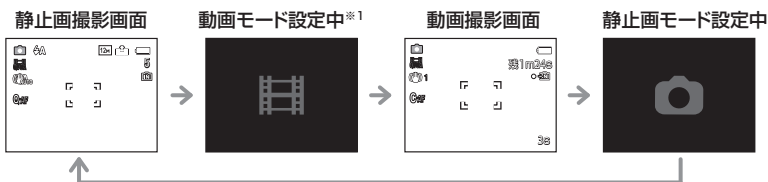
2 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
  押し続けると、記録開始時の数秒間、音声が録音されません。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。
  （音声なしで動画を記録することはできません）
- 画面が一瞬暗くなり、表示を調節してから撮影が開始されます。

3 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

お知らせ

- 手順 **2**、**3** で動画ボタンを押したときに、以下のように画面の表示が変わります。

静止画撮影画面 → 動画モード設定中※1 → 動画撮影画面 → 静止画モード設定中

※ 1 動画モード設定中に表示される画面は、[撮影モード] の設定によって異なります。

- 以下の動画撮影メニューを、設定することができます。
  ・[撮影モード]（P70）/[画質設定]（P70）/[ホワイトバランス]（P84）/[暗部補正]（P88）/
  [オートフォーカスモード] ※ 2（P86）/[コンティニュアス AF]（P88）/
  [デジタルズーム]（P90）/[カラーモード] ※2（P90）/[風音低減]（P73）/[LEDライト]（P74）

※ 2 静止画撮影メニューと設定できる内容が異なります。

- **フラッシュは [ ] になります。**
- **記録可能時間については 148 ページをお読みください。**
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 操作音やズーム音など、本機の動作音が記録される場合があります。
- 水中では雑音が記録される場合があります。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影可能範囲が大きく変わります。

- **本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため [MOTION JPEG] で撮影した動画を、2008 年 7 月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。**
- 動画撮影時は、[手ブレ補正]は[MODE1]に固定されます。
- 動画撮影時は、以下の機能は使えません。
  - ・縦位置検出機能
  - ・[カラーモード] の [ナチュラル]、[ヴィヴィッド]
  - ・EX 光学ズーム
  - ・[個人認証]
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- 動画は静止画に比べて画角が狭くなる場合があります。
- 動画記録枠表示(P28)を [ON] にすると、動画撮影時の画角が表示されます。

インテリジェントオートモードに設定した場合

- 手順 **1** でインテリジェントオートモードを選ぶと、被写体や撮影状況に合わせた動画撮影を行うことができます。

■ 自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが２秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA →	i人物	i風景	iローライト	iマクロ

- どのシーンにもあてはまらない場合は [iA]になり、標準的な設定を行います。

■ 顔認識について

[i人物] のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。(P87)

お知らせ

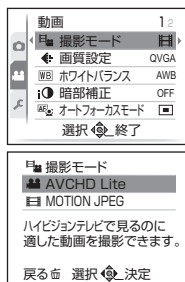
- 以下の撮影メニューはカメラが自動調整するため設定できません。
  [ホワイトバランス]、[暗部補正]
- [カラーモード] は [標準]、[白黒]、[セピア] のみ設定できます。
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗、被写体の大きさ、被写体までの距離、被写体の濃淡、被写体が動いている場合、ズーム倍率
  - ・撮影条件
    夕暮れ、朝焼け、低照度、手ブレが発生した場合
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- 水中では顔の検知が遅くなる、または検知しない場合があります。

動画を撮る（つづき）

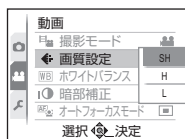
撮影モード：iA ● [撮影モードアイコン] SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影モードと画質設定を変更する

1 動画撮影メニューから［撮影モード］を選び、▶を押す(P24)

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

記録形式	効果
[AVCHD Lite]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を長時間記録できます。
[MOTION JPEG]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。

3 ▲/▼で［画質設定］を選び、▶を押す

▲/▼で項目を選び、[MENU/SET] を押す

手順 2 で [AVCHD Lite] を選んだ場合

	項目	画質 (ビットレート)※ 1	画像横縦比
高画質	SH	1280×720画素 17Mbps ※ 2	16:9
↓↑	H	1280×720画素 13Mbps ※ 2	
長時間	L	1280×720画素　9Mbps ※ 2	

※ 1「ビットレート」とは
一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はＶＢＲ記録方式を採用しています。ＶＢＲとはVariable Bit Rate (可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間あたりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
※ 2「Mbps」とは
「Megabit Per Second」の略で、転送される速度を表します。

手順 2 で [MOTION JPEG] を選んだ場合

項目	記録画素数	コマ数	画像横縦比
HD	1280×720画素	30 コマ/秒	16:9
WVGA ※	848×480画素		
VGA	640×480画素		4:3
QVGA	320×240画素		

※ インテリジェントオートモード設定時、[MOTION JPEG] の [WVGA] は設定できません。
- [AVCHD Lite]または[MOTION JPEG]の[HD]では、HDMIミニケーブル(別売)を使用すると高画質な動画をテレビでお楽しみいただけます。詳しくは 115 ページの「HDMI端子付きテレビで見る」をお読みください。
- [QVGA] 以外は内蔵メモリーには記録できません。

応用・撮影

動画を撮る（つづき）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

5 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。

※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

- [画質設定]を[HD]、[WVGA]または[VGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。[AVCHD Lite]はカードの容量いっぱいまで記録できます※。

※電池寿命によって、カードの容量が残っていても撮影が終了する場合があります。（P18）

- 記録・消去を何度も繰り返していると、カードの記録可能時間が短くなる場合があります。そのときは、本機でカードをフォーマット（P32）してください。フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
- **[AVCHD Lite]で撮影された動画はAVCHD対応機器で再生できます。お使いの機器の説明書で対応を確認してください。ただし、一部の対応機器においては、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。AVCHD対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/
- [AVCHD Lite]で撮影された動画はAVCHDに対応していない機器（従来のDVDレコーダーなど）では再生できませんので、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
- [AVCHD Lite]で撮影された動画はDCF/Exifに準拠していないため、再生時に一部の情報が表示されません。
- マイク、スピーカーに水滴が付いていると、音が小さくなったり、聞き取りにくくなることがあります。水滴をふき取り、しばらく乾燥させてからお使いください。（P143）
- **ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、ACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。十分に充電されたバッテリーと、ACアダプターを同時にお使いいただくことををおすすめします。**
- **動きの速い被写体を撮影した場合、再生時に残像が目立つ場合があります。**

C-AF コンティニュアス AF

一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。

1 動画撮影メニューから [コンティニュアス AF] を選び、▶ を押す(P24)

2 ▼で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- ピントを固定したいときは [OFF] にしてください。

お知らせ

- インテリジェントオートモードでは、[コンティニュアス AF] は、常時 [ON] に設定されます。
- [コンティニュアスAF]を[ON]に設定時、動画記録が開始されるまで時間がかかる場合があります。

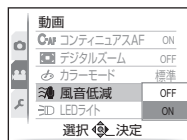
風音低減

[ON] に設定すると、風雑音を効果的に低減することができます。風や周囲の雑音が気になるときにお使いください。

1 動画撮影メニューから [風音低減] を選び、▶ を押す(P24)

2 ▼で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- [風音低減] を [ON] に設定しているときは、通常と音質が異なります。
- インテリジェントオートモードおよび一部のシーンモードでは [風音低減] は設定できません。
- 音声付き静止画やアフレコ時は、風音低減は働きません。

動画を撮る（つづき）

撮影モード：

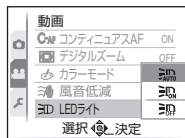
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

LED ライト

暗い場所での撮影時に、被写体をライトで明るく照らします。

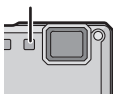
1 動画撮影メニューから [LED ライト] を選び、▶ を押す（P24）

2 ▲/▼ で [AUTO] または [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

[AUTO]: 動画撮影中に撮影状況に応じて点灯します。
[ON]: 動画撮影中に常時 LED ライトを点灯します。
[OFF]: 動画撮影中に常時 LED ライトを消灯します。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- LED ライトの照射範囲は最大 70 ｃｍ です。
- LED ライトを常時使用した場合、バッテリーの寿命が短くなります。
- [AUTO] 設定時、バッテリーの残量が少なくなると暗い場所でも点灯しない場合があります。
- ライトの使用が禁止されている場所や、[AUTO] 設定時に明るい場所でも LED ライトが消えない場合は、[OFF] に設定してください。
- シーンモードの [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2]、[水中] では [OFF] に固定されます。

個人認証機能を使って撮る

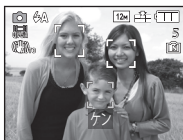
撮影モード：[iA][●][スポーツ][キッズ][夜景ポートレート][SCN]

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

個人認証機能について

撮影メニューの [個人認証] を [ON] にして撮影すると、以下の個人認証機能が働きます。

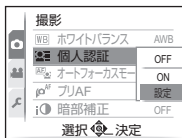
- **登録した顔に近い顔を見つけて、優先的にピントや露出を合わせます。**
- **顔登録で名前を設定すると、カメラが登録した顔を認識したときに、名前を表示します。**
- [自動登録] を [ON] に設定すると、顔認識時にカメラが人の顔を記憶し、撮影回数の多い顔を自動的に検出して、顔登録画面を表示します

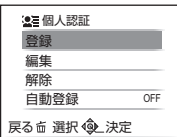
- 再生時に名前を表示したり、その名前の画像のみを [カテゴリー再生] することができます。（P98）

顔登録について

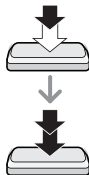
最大 6 枚まで、顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。同じ人物の複数の顔画像を登録すると認証しやすくなります。

■ 撮影メニューから登録する

1 撮影メニューから [個人認証] を選び、► を押す（P24）

2 ▲/▼ で [設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で [登録] を選び、[MENU/SET] を押す

- すでに6人登録しているときは、登録した人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選択してください。入れ換えた人物の情報は消去されます。
- すでに登録した顔を変更したいときは[編集]を選び、編集したい人物を選択して手順**6** 以降の操作を行ってください。

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- 正面を向いた顔を撮影してください。

個人認証機能を使って撮る（つづき）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

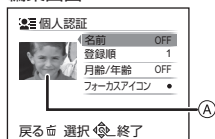
6 ▲/▼で項目を選び、▶を押す

[名前]：　名前を登録できます。
文字入力の方法については102ページの[タイトル編集]をお読みください。

[登録順]：登録順にピントや露出を合わせます。
登録順は以下の操作で変更することができます。
▲/▼/◀/▶で登録順を選び[MENU/SET]を押す

[月齢/年齢]：◀/▶で項目を選び、▲/▼で設定し、[MENU/SET]を押す

[フォーカスアイコン]：
ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更できます。
▲/▼でフォーカスアイコンを選び[MENU/SET]を押す

- 編集画面で◀を押してⒶを選び、[MENU/SET]を押すと顔画像を撮り直すことができます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押して、手順**4**に戻ってください。

7 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

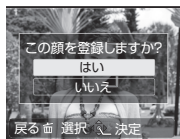
■ 自動登録画面から登録する

「顔登録について」の手順**3**で[自動登録]を[ON]に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後に自動的に登録画面が表示されます。
（登録画面が表示される目安は5回です。[連写]、[音声記録]、オートブラケット設定時は撮影回数に含まれません。）

1 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- [いいえ]を選ぶと再度選択画面が表示され、▲で[はい]を選ぶと[自動登録]が[OFF]に設定されます。

2 「顔登録について」の手順6以降の操作を行う

- すでに6人登録しているときは、自動登録画面は表示されません。

■ 顔登録の情報を解除する

1 「顔登録について」の手順 **3** で [解除] を選び、[MENU/SET] を押す

2 ▲/▼/◄/► で解除したい人物の画像を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

お知らせ

- オートフォーカスモードは[ ]に固定されます。
- 以下の場合など、登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
  - ・顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラス、光で反射しているメガネ、髪、帽子などで隠れている/小さく写っている
  - ・顔全体が画面に収まっていない
  - ・年齢と共に顔の特徴が変化したとき
  - ・表情が大きく違っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時
- 連写撮影時は、1 枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- シャッターを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
- 登録している人を認証しなくなった場合は、再度登録し直してください。
- 以下の場合に、[個人認証]を使用できます。
  - ・[スポーツモード]
  - ・[雪モード]
  - ・[ビーチ & サーフモード]
  - ・シーンモードの [人物]/[美肌]/[自分撮り]/[風景]/[夜景&人物]/[パーティー]/[キャンドル]/[赤ちゃん 1]/[赤ちゃん2]/[ペット]/[夕焼け]/[高感度]/[ピンホール]
- シーンモードの[赤ちゃん 1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定や[トラベル日付]の旅行先設定、[タイトル編集]で文字が登録された画像には[個人認証]で登録した名前は表示されません。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使うと 1 枚の画像に登録された最大 3 人までの情報が確認できます。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

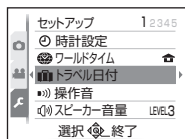
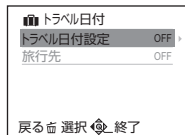
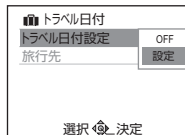
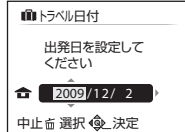
撮影モード：

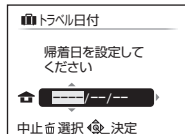
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

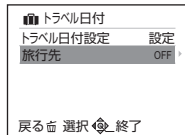
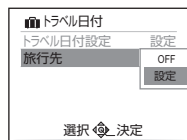
旅行の経過日数を記録する（トラベル日付）

旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P104）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ[時計設定]（P22）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 **セットアップメニューから[トラベル日付]を選び、▶を押す（P24）**

2 **▲で[トラベル日付設定]を選び、▶を押す**

3 **▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す**

4 **▲/▼/◀/▶で出発日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す**

5 **▲/▼/◀/▶で帰着日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す**

- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[MENU/SET]を押してください。

6 **▼で[旅行先]を選び、▶を押す**

7 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

トラベル日付
トラベル日付設定　設定
旅行先　OFF
設定
選択　決定

8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、102ページの[タイトル編集]をお読みください。

9 [MENU/SET]を2回押して終了する

10 撮影する

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約5秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に[ ]が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**、**7**の画面で[OFF]を選び、[MENU/SET]を2回押してください。また、手順 **3** で[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。

お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイム(P80)を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、出発日、帰着日を設定していても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、オレンジ色で−(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。
- トラベル日付が白色で−(マイナス)付きで表示される場合は[ホーム]と[旅行先]との間に、日付をまたぐ時差があります。(記録されます)
- [旅行先]で設定したテキストは、撮影後でも[タイトル編集]で変更できます。
- [旅行先]設定時は、シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前は記録されません。
- 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

撮影モード：[iA][●][スポーツ][ベビー][ビーチ][SCN]

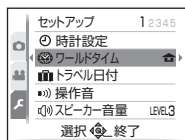
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● あらかじめ［時計設定］(P22)で、現在の時刻を合わせておいてください。

1 セットアップメニューから［ワールドタイム］を選び、▶を押す(P24)

● お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[MENU/SET]を押し、手順**3**の画面から設定してください。

2 ▼で［ホーム］(お住まいの地域)を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET]を押す

● ホームがサマータイム[☼◷](夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。もう一度押すと元に戻ります。

● ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。

4 ▲で[旅行先]を選び、[MENU/SET]で決定する

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

5 ◄/► で旅行先のあるエリアを選び、[MENU/SET]で決定する

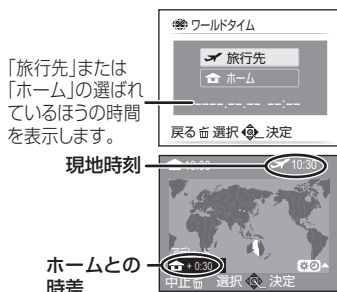
- 旅行先がサマータイム[☼◷](夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)もう一度▲を押すと元に戻ります。

6 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ

- 旅行から戻ったら、手順**1**、**2**、**3**の操作を行って、設定をホームに戻してください。
- すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- [AVCHD Lite] で撮影された動画を除き、旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に[✈]が表示されます。

撮影メニューを使う

項目	設定・お知らせ
記録画素数 記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。	**使えるモード：** iA SCN（下記参照）

画像横縦比：[4:3]のとき

項目	記録画素数
12M（12M）	4000×3000 画素
8M（8M EZ）※	3264×2448 画素
5M（5M EZ）	2560×1920画素
3M（3M EZ）	2048×1536画素
2M（2M EZ）※	1600×1200画素
0.3M（0.3M EZ）※	640×480画素

画像横縦比：[3:2]のとき

項目	記録画素数
10.5M（10.5M）	4000×2672 画素
7M（7M EZ）※	3264×2176 画素
4.5M（4.5M EZ）※	2560×1712画素
2.5M（2.5M EZ）※	2048×1360画素

画像横縦比：[16:9]のとき

項目	記録画素数
9M（9M）※	4000×2248画素
6M（6M EZ）※	3264×1840画素
3.5M（3.5M EZ）※	2560×1440画素
2M（2M EZ）	1920×1080画素

※インテリジェントオートモード時は設定できません。

- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。

画素が多い（きめ細かい）

画素が少ない（粗い）

※画像は効果を説明するためのイメージです。

- 画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。
- ズームマクロ設定時または、シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 記録可能枚数については、148ページをお読みください。

項目	設定・お知らせ
クオリティ 画像を保存するときの圧縮率を設定します。	使えるモード: [ ]: ファイン(画質を優先するとき) [ ]: スタンダード(標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき) ●記録可能枚数については、148ページをお読みください。
画像横縦比 プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。	使えるモード: [4:3]: 4:3テレビの横縦比 [3:2]: 一般のフィルムカメラの横縦比 [16:9]: ハイビジョンテレビなどの横縦比 [4:3]設定時 [3:2]設定時 [16:9]設定時 ●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P140)
ISO インテリジェントISO 被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。	使えるモード: [OFF]、[ISOMAX 400]、[ISOMAX 800]、[ISOMAX 1600] ●ISO感度の上限を設定できます。 ●ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。 ●フラッシュで撮影できる範囲については、49ページをお読みください。 ●明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレをおさえられない場合があります。 ●動いている被写体が小さいときや動いている被写体が画面の端にあるとき、シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したときは、動きを検出できないことがあります。 ●ノイズが気になるときは、最高ISO感度を低くするか、[カラーモード]を[ナチュラル]にして撮影することをおすすめします。(P90)

撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>ISO ISO感度

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。</td><td>使えるモード：

[AUTO]、[80]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]

ISO感度	80	1600
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

● [AUTO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO400](フラッシュ使用時は[ISO1000])までの範囲で自動設定します。
● [インテリジェントISO]設定時は、使用できません。([iISO]が表示されます)
● ノイズが気になるときは、ISO感度を低くするか、[カラーモード]を[ナチュラル]にして撮影することをおすすめします。(P90)</td></tr>
<tr><td>WB ホワイトバランス

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。</td><td>使えるモード：SCN

[AWB]: 自動調整
[☼]: 晴天の屋外での撮影時
[☁]: 曇りの屋外での撮影時
[⌂]: 屋外の晴天下の日陰での撮影時
[-☼-]: 白熱灯下での撮影時
[]: [SET]で設定した値を使用
[SET]: 手動で設定

● 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[SET]をご使用ください。
● 電源を[OFF]にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。(シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは [AWB]に戻ります)
● 以下の場合は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
・雪モード
・ビーチ & サーフモード
・シーンモードの [風景]/[夜景 & 人物]/[夜景]/[料理]/[パーティー]/[キャンドル]/[夕焼け]/[フラッシュ連写]/[星空]/[花火]/[空撮]/[サンドブラスト]/[水中]</td></tr>
</table>

■ 手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [SET] を選び、[MENU/SET] を押す

2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[MENU/SET] を押す

撮影メニューの設定方法はP24へ

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ ホワイトバランス微調整（WB±）

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

● ホワイトバランスを[☼]/[☁]/[⌂]/[蛍光灯]/[セット]に設定してください。

1 ▲（±）を数回押し、[WB± WB微調整]を表示させ、◀/▶でホワイトバランスを調整する

◀：赤（青みが強い場合）

▶：青（赤みが強い場合）

● ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0”を選んでください。

2 [MENU/SET]を押して終了する

● シャッターボタン半押しでも終了できます。
● ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。
● ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
● ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
● 電源を[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
● セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[セット]（セットモード）の微調整レベルは “0” に戻ります。
● ビーチ & サーフモード、シーンモードの[水中]では、[AWB]に固定されますが、微調整できます。
● [カラーモード]の[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]時はホワイトバランス微調整を設定できません。

■ オートホワイトバランスについて

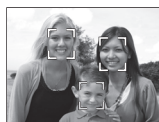
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
個人認証 人物の顔を特定し、個人認証機能が働きます。	**使えるモード：** **[OFF]、[ON]、[設定]** ● 詳しくは、75 ページをお読みください。
オートフォーカスモード 被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。	**使えるモード：** [ ]（顔認識）：人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。 [ ]（追尾 AF）：指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾） [ ]（11 点）：最大 11点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。 [ ]（1 点高速）：中央のAFエリア内に高速でピントを合わせます。 [ ]（1 点）：中央のAFエリア内にピントを合わせます。 [ ]（スポット）：限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。 ● [ ] で AFエリアが複数（最大11個）点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を[ ]、[ ]または[ ]に切り換えてください。 ● [ ]に設定している場合は、ピントが合うまでAFエリアは表示されません。 ● [ ]でピントが合いにくいときは、[ ]または[ ]に切り換えてください。 ● 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、オートフォーカスモードを[ ]以外に設定してください。 ● [個人認証] が[ON]のときは [ ] に固定されます。 ● シーンモードの[花火]ではオートフォーカスモードの設定はできません。 ● シーンモードの [パノラマアシスト]、[夜景]、[料理]、[星空]、[空撮]、[水中] では[ ]に設定できません。

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ [顔認識]について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。
黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。
白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[▦]に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・被写体が人物以外である
  - ・デジタルズーム使用時
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・水中撮影時

■ [■H]について

- 他のオートフォーカスモードより速くピントを合わせることができます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。

■ [追尾](追尾AF)を設定する

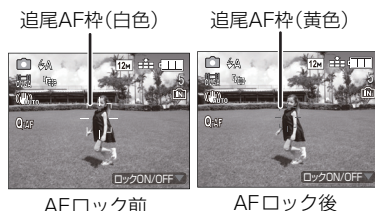
1　被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押して被写体にAFロックする

- 被写体を認識すると、追尾 AF 枠が被写体に合わせて動き、自動で連続的にピントを合わせます。
- もう一度▼を押すと、AF ロックは解除されます。

2　撮影する

追尾AF枠(白色)　　追尾AF枠(黄色)

ロックON/OFF　　ロックON/OFF

AFロック前　　AFロック後

お知らせ

- 以下の場合など、撮影状況によっては、AFロックに失敗したり、動体追尾で被写体を見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・水中撮影時
  - ・撮影場所が明るすぎる／暗すぎる
  - ・類似した色の他の被写体や背景があるとき
  - ・ズーム使用時
- AFロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤く点滅したあと消えます。もう一度▼を押してください。
- AF ロックや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[[■]]で撮影されます。
- 追尾AF 動作時は、[個人認証]が働きません。
- 追尾AF 動作中は、[クイックAF]は働きません。
- シーンモードの [パノラマアシスト]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、動画撮影では [[追尾]] に設定できません。
- カラーモードの [白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム] では [[追尾]] に設定できません。
- ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定･お知らせ
プリAF 設定に応じて、カメラがピント合わせを自動的に行います。	使えるモード: [OFF] [Q-AF]（クイックAF）: 画面に [Q-AF] が表示されます。 [C-AF]（コンティニュアスAF）※: 画面に [C-AF] が表示されます。 ※動画撮影時は、[C-AF]（AF連続動作）のみ設定できます。 **Q-AF/C-AFについて** [Q-AF]はカメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。[C-AF]は常時ピント合わせを行います（AF連続動作）。カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。 ● バッテリーの消耗は早くなる場合があります。 ● 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ● 追尾 AF 動作中は [Q-AF] は働きません。 ● シーンモードの [夜景 & 人物]、[夜景]、[星空]、[花火] 時は、[Q-AF] の設定はできません。 ● [C-AF]に設定している時、ズームレバーをW端からT端にスライドさせたり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
暗部補正（インテリジェント暗部補正） 背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。	使えるモード: [OFF]、[ON] ● [ON]に設定すると、画面に[ ]が表示されます。 ● [ISO感度] が [ISO80]/[ISO100] のときでも、[暗部補正] 有効時に撮影すると、[ISO感度] は [ISO80]/[ISO100] より大きくなることがあります。 ● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 ● [暗部補正] 有効時は、画面の [ ] が黄色になります。

撮影メニューの設定方法はP24へ

項目	設定・お知らせ

連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
撮影後にお気に入りの画像を選んでください。

使えるモード: iA SCN

		[OFF]	[□](通常)	[□∞](フリー)
連写速度		—	約 2.3コマ/秒※	約1.8コマ/秒
連写枚数		—	最大3コマ	内蔵メモリー/カードの空き容量による
		—	最大5コマ	

※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。

- 上記の連写速度は、シャッタースピードが1/60より速く、フラッシュを発光させないときの値です。

- **フリー連写について**
  - · **途中から連写速度が遅くなります。**遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化します。
  - · 内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
- ピントは1枚目で固定されます。
- [□]設定時、1枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
  [□∞]設定時、1枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- セルフタイマー使用時の連写設定は、3枚に固定されます。
- 屋内外など明暗差の大きい場所(風景)で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間がかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度(コマ/秒)が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **連写を設定すると、フラッシュは[⚡]になります。**
- **連写を設定すると、オートブラケットは解除されます。**
- シーンモードの[変身]、[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[ピンホール]、[サンドブラスト]では、連写は使えません。

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
デジタルズーム 光学ズーム、またはEX光学ズームよりも、さらに拡大することができます。	**使えるモード：** [OFF]、[ON] ●詳しくは、41 ページをお読みください。 ●ズーム時に手ブレが気になるときは、[手ブレ補正] を [AUTO] または [MODE1] に設定することをおすすめします。 ●ズームマクロ撮影時には [ON] に固定されます。
カラーモード 画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。	**使えるモード：** **[標準]**：標準的な設定 **[ナチュラル]**：柔らかい画像 **[ヴィヴィッド]**：くっきりとした画像 **[白黒]**：白黒画像 **[セピア]**：セピア色の画像 **[クール]**：青っぽい画像 **[ウォーム]**：赤っぽい画像 ●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になる場合は[ナチュラル]に設定してください。 ●インテリジェントオートモード時は [ナチュラル]、[ヴィヴィッド]、[クール]または[ウォーム]の設定はできません。 ●各撮影モードで、それぞれ別に設定することができます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定･お知らせ</th></tr>
<tr><td>手ブレ補正

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。</td><td>使えるモード:

[OFF]
[AUTO]：撮影状況に応じて自動的に最適な手ブレ補正をします。
[MODE1]：撮影モード時、常に手ブレを補正します。
[MODE2]：シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。

●以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
・デジタルズーム領域
・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
●シーンモードの[自分撮り]では[MODE2]、シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。
●動画撮影時は、[MODE1]に固定されます。</td></tr>
<tr><td>MIN下限シャッター速度

下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。</td><td>使えるモード:

[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1]

<table><tr><th>下限シャッター速度設定</th><th>1/125秒 ⇔ 1秒</th></tr><tr><td>明るさ</td><td>暗くなる ⇔ 明るくなる</td></tr><tr><td>手ブレ</td><td>少ない ⇔ 多い</td></tr></table>
●通常は、[1/8]に設定して、お使いください。([1/8]以外を選択した場合、画面に [MIN] が表示されます)
●[下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
●[下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをおすすめします。適正露出でないとき、シャッターボタンを半押しすると [MIN] が赤く点滅します。
●[インテリジェントISO]設定時は、使用できません。</td></tr>
</table>

撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>音声記録

撮影と同時に音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。</td><td>使えるモード：
[OFF]：録音されません。
[ON]：画面に [ ] が表示されます。
撮影と同時に録音を開始します。
（約５秒後に終了します）
●録音中に[MENU/SET]を押すと中止されます。
●メモモードの［音声記録］（P93）とは別に設定されます。
●音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
●本機で記録した音声は他機で再生できない場合があります。
●本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で撮影した音声付き静止画を、2008 年７月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。
●以下の場合は、［音声記録］の設定はできません。
・オートブラケット撮影時
・連写時
・シーンモードの［パノラマアシスト］、［高速連写］、［フラッシュ連写］、［星空］</td></tr>
<tr><td>AF補助光

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。</td><td>使えるモード：
[OFF]：点灯しません。
[ON]：暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
（大きなAFエリアが表示されます）
●補助光の有効距離は 1.5 mです。
●暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
●シーンモードの［自分撮り］、［風景］、［夜景］、［夕焼け］、［花火］、［空撮］、［水中］では、AF補助光は[OFF]に固定されます。
AF補助光ランプ</td></tr>
<tr><td>時計設定

年・月・日・時刻を設定、または変更することができます。</td><td>セットアップメニューの［時計設定］と同じ機能です。</td></tr>
</table>

メモを撮る/見る（[メモ]：メモモード）

モードダイヤル：[メモ]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

時刻表や路線図など、メモ代わりに撮るときに便利です。カードの有無にかかわらず、**常に内蔵メモリーのメモ専用フォルダーに保存されます**ので、普通の撮影画像と区別でき、すぐに見ることができます。
モードダイヤルが[[メモ]]のときのみ、メモ画像の撮影、再生または消去ができます。

● **メモモードでは動画撮影できません。**

メモ画像を撮る（メモ撮影）

1 モードダイヤルを [[メモ]] に合わせる

2 撮影する

● 内蔵メモリーをメモ画像撮影だけに使用した場合の撮影可能枚数

記録画素数	2M EZ	1M EZ
記録可能枚数	84 枚	124 枚

・他の撮影モードで内蔵メモリーに記録している画像がある場合、上記の記録可能枚数よりも減少します。

メモ撮影メニュー

メモ撮影時に[MENU/SET]を押すと、メニュー画面が表示されます。

1 ▲/▼ でメニュー項目を選び、▶ を押す

項目	設定内容
記録画素数	記録画素数を変更します。 2M EZ：初期設定（きめ細かさ優先） 1M EZ：枚数優先
音声記録	音声（5秒間）を撮影と同時に記録します。 ※撮影メニューの[音声記録]（P92）とは別に設定されます。
LCD モード	セットアップメニューの[LCDモード]と同じ機能です。（P27）
時計設定	時計を設定します。

2 ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] を押す

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

メモを撮る/見る（つづき）

モードダイヤル：[メモ]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

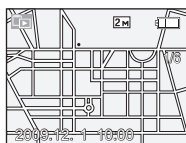
メモ画像を見る（メモ再生）

1 モードダイヤルを[メモ]に合わせる

2 [▶]を押す

3 ◀/▶で画像を送る

◀：前の画像へ　▶：次の画像へ

- ズームレバーを[W](W)側にスライドさせると、12 画面表示になります。
  1 画面表示に戻すには、[Q](T)側にスライドさせてください。

■ メモ画像を消去する

通常の消去の方法と同じです。44ページをお読みください。

- ズームマーク付き画像を消去すると、ズーム前の画像も見ることができなくなります。
- ズームした状態からも消去することができます。

メモ画像を拡大し記憶させる（ズームマーク）

地図などの一部を拡大して記憶させておくと便利です。拡大の方法については、43ページの「再生画面を拡大する（再生ズーム）」をお読みください。

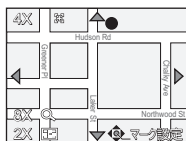
1 ズームレバーと▲/▼/◀/▶で記憶させる位置を選ぶ

2 [MENU/SET]を押す

- 記憶させた画像には、ズームマーク([+])が表示されます。
- ズーム倍率や位置を変更したい場合は、上記操作を繰り返してください。
- ズームマークの設定を終了するときは、ズーム倍率を[W](W)側（1倍）に戻してください。

■ 記憶させた画像を見るには

1　◀/▶で[+]の付いた画像を表示させる

2　ズームレバーを[Q](T)側にスライドさせる

メモ再生メニュー

メモ再生時に[MENU/SET]を押すと、メニュー画面が表示されます。(操作方法は93ページの「メモ撮影メニュー」と同じです)

項目	設定内容
ズームマーク解除	ズーム位置を解除します。 **1 ◀/▶ でズームマーク( )の付いた画像を選ぶ** **2 [MENU/SET] で解除する**
アフレコ	メモ画像にあとから音声を追加します。 **1 ◀/▶ で画像を選ぶ** **2 [MENU/SET] で録音を開始/停止する**
コピー	メモ画像をカードへ1枚ずつコピーします。 ※ズームマークはコピーされません。 **1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す** **2 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す**
LCDモード	セットアップメニューの[LCDモード]と同じ機能です。(P27)

メモモード時の設定内容

●以下の機能が固定されます。

項目	設定内容
ガイドライン表示(撮影情報)	OFF
ガイドライン表示(パターン)	田
エコモード(自動電源OFF)	5 分
エコモード(自動液晶OFF)	OFF
セルフタイマー	2 秒 /OFF
クオリティ	

項目	設定内容
画像横縦比	4:3
ISO感度	AUTO
ホワイトバランス	AWB
オートフォーカスモード	■
AF補助光	ON

●以下の機能は使えません。
・オートブラケット/ホワイトバランス微調整/[インテリジェントISO]/[プリAF]/[暗部補正]/[連写]/[デジタルズーム]/[カラーモード]/[下限シャッター速度]/[ヒストグラム表示]/[スライドショー]/[カテゴリー再生]/[お気に入り再生]
●撮影メニューの[手ブレ補正](P91)はメモモードにも反映されます。
●セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定することができます。設定した内容はメモモードに反映されます。

お知らせ

●**著作権などにお気をつけください。(P10)**
●再生メニュー(P101)の機能は使えません。
●メモ再生時のプリントはできません。(カードにコピーしたメモ画像はプリントできます)

画像を順番に再生する（スライドショー）

再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、カテゴリーで分類した画像や、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 [▶]を押し、[MENU/SET]を押す

● モードダイヤルは[ ]以外に合わせてください。

2 ▶を押す

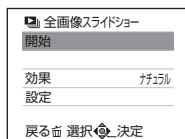
3 ▲/▼で[スライドショー]を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

● [お気に入り]は再生メニューの[お気に入り](P109)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。

スライドショー
全画像
静止画のみ
動画のみ
カテゴリー選択
お気に入り
戻る 選択 決定

手順4で[全画像]、[静止画のみ]、[動画のみ]、[お気に入り]選択時

5 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

6 ▼を押してスライドショーを終了する

● スライドショーを終了すると、通常再生になります。

手順4で[カテゴリー選択]選択時

5 ▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す

● カテゴリーの詳細については98ページをお読みください。

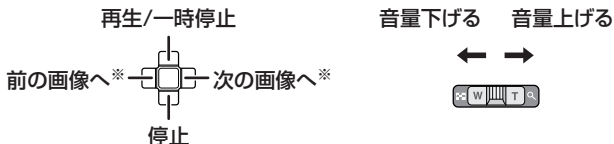
6 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

7 ▼を押してスライドショーを終了する

● スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

音量下げる　音量上げる

※一時停止中のみ操作できます。

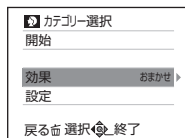
- [🗑] を押すとメニュー画面に戻ります。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。
[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、
[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- 動画のみのスライドショー時、効果は [OFF] 固定されます。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音楽]/[音声]	ON、OFF

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- [音声]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ表示されます。[音声] を [ON]に設定すると、音声付き静止画または動画の音声が再生されます。

お知らせ

- 音楽効果を追加することはできません。

画像を選んで再生する（モード別再生 / カテゴリー再生/お気に入り再生）

再生モード：▶

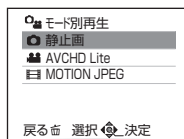
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

モード別再生

[静止画]、[AVCHD Lite] または [MOTION JPEG] を選び、再生することができます。

1 96ページの手順 **1**、**2** を行う

2 ▲/▼ で [モード別再生] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

カテゴリー再生

シーンモードなどのカテゴリー(人物・風景・夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

1 96ページの手順 **1**、**2** を行う

2 ▲/▼ で [カテゴリー再生] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼/◀/▶ でカテゴリーを選び、[MENU/SET] を押す

- 画像が見つかったカテゴリーのアイコンが青になります。
- 画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。
- 検索中に[🗑]を押すと、途中で検索が中止されます。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	[個人認証] ※1
	[人物]、[i人物]、[美肌]、[変身]、[自分撮り]、[夜景 & 人物]、[i夜景&人物]、[赤ちゃん]、[i赤ちゃん]
	[風景]、[i風景]、[夕焼け]、[空撮]
	[夜景&人物]、[i夜景&人物]、[夜景]、[i夜景]、[星空]
	[スポーツモード]、[雪モード]、[ビーチ & サーフモード]、[パーティー]、[キャンドル]、[花火]、[空撮]

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	[赤ちゃん]、[i赤ちゃん]
	[ペット]
	[料理]
	[水中]
	[トラベル日付] ※2
	[AVCHD Lite]、[MOTION JPEG]

※ 1 ▲/▼/◀/▶ で再生したい人物を選び [MENU/SET] を押して再生してください。登録している人物でも、表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

※ 2 メモ専用フォルダーにある画像のトラベル日付は分類されません。

お気に入り再生

[お気に入り] 設定(P109)した画像を再生することができます。([お気に入り] が [ON] で設定済みの画像があるときのみ)

1 96ページの手順 1、2 を行う

2 ▲/▼ で [お気に入り再生] を選び、[MENU/SET] を押す

お知らせ

- 再生メニューは [回転表示]、[プリント設定]、[プロテクト]、[アフレコ] のみ使えます。

動画/音声付き静止画を見る

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

- 本機で再生できる動画 / 音声付き静止画のファイル形式は QuickTime Motion JPEGまたは AVCHD Lite です。
- [AVCHD Lite] で撮影した動画は本機で撮影したものか、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」で編集したもののみ再生できます。

動画

◀/▶で動画アイコン（[QVGA]など）が付いた画像を選び、▲を押して再生する

- 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
  例）1時間3分30秒のとき：1h3m30s

[MOTION JPEG]
動画アイコン

動画記録時間

[AVCHD Lite]
動画アイコン

動画記録時間

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

※一時停止中のみ操作できます。

お知らせ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG動画は、画質が粗くなったり、本機で再生できない場合があります。

音声付き静止画

◀/▶で音声アイコン（[♪]）が付いた静止画を選び、▲を押して再生する

- 音声付き静止画の作成方法は、[音声記録]（P92）、[アフレコ]（P112）をお読みください。

音声アイコン

お知らせ

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの[スピーカー音量]（P26）をお読みください。
- 他機で撮影された音声付き静止画は本機で再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

再生メニューを使う

再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング]または[傾き補正]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

再生メニューの設定方法は P24 へ

[CAL] カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 再生メニューから[カレンダー検索]を選ぶ

- ズームレバーを[▦](W)側に数回スライドしても、カレンダー検索表示画面にできます。(P42)

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

▲/▼：月を選択

◀/▶：日を選択

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET]を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- [🗑]を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 選択されていた画像が表示されます。

お知らせ

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2009年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューを使う（つづき）

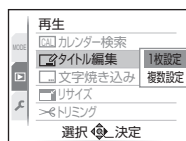
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

タイトル編集

撮影画像に文字（コメント）を登録しておくことができます。登録後、[文字焼き込み]（P104）で撮影画像に焼き込むことができます。（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）
シーンモードの[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]、[ペット]で設定した名前や[トラベル日付]の旅行先もタイトルとして登録されています。

1 再生メニューから[タイトル編集]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが登録されている画像には[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定（繰り返す）し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

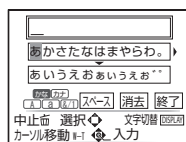
[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- 文字入力例は、次のページをお読みください。
- [DISPLAY]を押すと、かな（ひらがな）、カナ（カタカナ）、A/a（アルファベット）、&/1（記号/数字）に文字を切り換えることができます。
- 入力位置のカーソルは、ズームレバーで左右に移動できます。
- 空白を入れたいときは[スペース]、入力した文字を消去したいときは[消去]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押してください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[ ]を押してください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - かな/カナ：　最大15文字（[個人認証]の名前設定時は最大6文字）
  - A/a/&/1※：　最大30文字（[個人認証]の名前設定時は最大9文字）

  ※[＼]、[「]、[」]、[・]、[—]、[歳]、[カ]、[月]、[日]は最大15文字（[個人認証]の名前設定時は最大6文字）です。

再生メニューの設定方法はP24へ

5 ▲/▼/◀/▶で[終了]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押して入力を終了する

6 [⟲]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ タイトルを消去する

[1枚設定]選択時

1 手順**4**ですべての文字を消去して[終了]を選び、[MENU/SET]を押す
2 [⟲]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

[複数設定] 選択時

1 手順**4**で文字を入力せずに[終了]を選び、[MENU/SET]を押す
2 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合:
❶ [DISPLAY]を押し、カナに切り換える
❷ ◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせる
❸ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す
❹ ◀/▶で「゜」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押し、「パ」にする
❺ ▲を押して上の段に戻り、◀/▶で「ラ」にカーソルを合わせる
❻ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「リ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す

応用・再生

お知らせ

- 登録した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- [個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前や[トラベル日付]の旅行先も、手順**4**以降の操作で登録できます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前や[トラベル日付]の旅行先と[タイトル編集]を同時に登録することはできません。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 動画、プロテクトされた画像、他機で撮影された画像はタイトル編集できません。

再生メニューを使う（つづき）

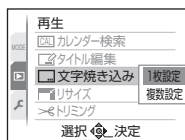
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、月齢/年齢、トラベル日付、タイトルを焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。（記録画素数が[3M]より大きい画像はリサイズされます）

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時

[DISPLAY]を押して設定（繰り返す）し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で[撮影日時]、[月齢/年齢]、[トラベル日付]または[タイトル]を選び、[MENU/SET]を押してそれぞれの項目を設定する

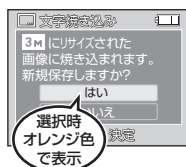
[撮影日時] 日付：年月日を焼き込みます。 日時：年月日時分を焼き込みます。	**[トラベル日付]** [ON]に設定すると、トラベル日付を焼き込みます。
[月齢/年齢]（P61） [ON]に設定すると、月齢/年齢を焼き込みます。	**[タイトル]** [個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定や[トラベル日付]の旅行先設定、[タイトル編集]で文字が登録された画像に文字を焼き込みます。

5 [MENU/SET] を押す

- 記録画素数が[3M]より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  - ・12M/8M/5M →3M(4:3)
  - ・10.5M/7M/4.5M →2.5M(3:2)
  - ・9M/6M/3.5M →2M(16:9)
- 画像は少し粗くなります。

6 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

(例)

- 記録画素数が[3M]以下で撮影された画像の場合はリサイズされませんので、「新規保存しますか?」のメッセージだけが表示されます。

7 [面]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- [0.3M]の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・音声付き静止画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像

再生メニューを使う (つづき)

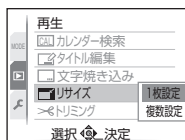
再生モード：[再生]

▲/▼/◄/►はカーソルボタンの上下左右を表しています。

リサイズ　画像サイズ(画素数)を小さくする

画像をEメールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[0.3M]にリサイズすることをおすすめします。(各画像横縦比の最低画素数に設定している画像は、それ以上小さくできません)

1 再生メニューから[リサイズ]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

1 ◄/►で画像を選び、[MENU/SET]を押す

2 ◄/►でサイズ※を選び、[MENU/SET]を押す

※リサイズできるサイズのみ表示されます。

[1枚設定]

[複数設定]選択時

1 ▲/▼でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
- [DISPLAY]を押すと、リサイズの説明を表示します。

2 ▲/▼/◄/►で画像を選び、[DISPLAY]を押す
- この手順を繰り返し、[MENU/SET]を押して決定します。

[複数設定]

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

5 [󠄀削除]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。
- 動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像はリサイズできません。

再生メニューの設定方法はP24へ

✂トリミング

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング]を選ぶ

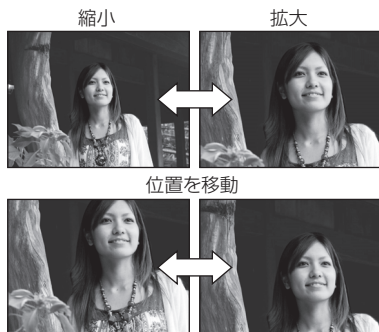
2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーと▲/▼/◀/▶で切り抜く部分を選ぶ

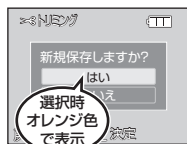
ズームレバー(T): 拡大
ズームレバー(W):縮小

▲/▼/◀/▶: 移動

縮小　拡大

位置を移動

4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

6 [🗑]を押してメニュー画面に戻る
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。
- 動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像はトリミングできません。
- トリミングを行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

傾き補正

画像の微妙な傾きを修正することができます。

1 再生メニューから[傾き補正]を選ぶ

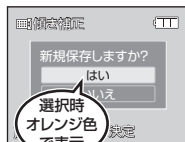
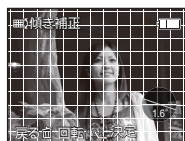
2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で傾きを調整し、[MENU/SET]を押す

▶：時計回りに回転します。
◀：反時計回りに回転します。
- 最大 2°まで傾きを補正できます。

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

5 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ
- 傾き補正を行うと、画質が粗くなります。
- 傾き補正を行うと、元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- 他機で撮影された画像は傾き補正できない場合があります。
- 動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像は傾き補正できません。
- 傾き補正を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

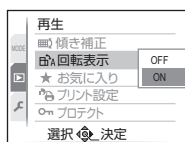
回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させることができます。

1 再生メニューから[回転表示]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- [OFF]に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、42ページをお読みください。

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

再生メニューの設定方法はP24へ

お知らせ
- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生(P42)またはカレンダー検索(P101)時は、回転表示されません。
- 本機の上下を逆にして撮影した画像は回転表示されません。

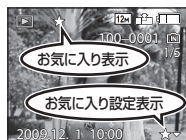
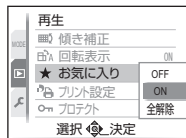
★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す
- [OFF]に設定するとお気に入り設定できません。設定済み画像の表示[★]も表示されません。

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

4 ◀/▶で画像を選び、▼で設定する
- この手順を繰り返します。
- もう一度▼を押すと解除されます。

■[お気に入り]設定を全解除する
1 手順**2**で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する
- 設定済みの画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

お知らせ
- 999枚まで設定できます。
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全消去](P44)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。
- [AVCHD Lite]で撮影した動画は設定できません。

再生メニューを使う（つづき）

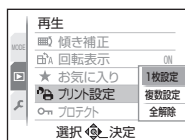
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P113)してから[プリント設定]をしてください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]を押す

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。（一括設定することはできません）

5 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [プリント設定]を全解除する

1 手順**2**で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- [プリント設定]で設定された画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

再生メニューの設定方法はP24へ

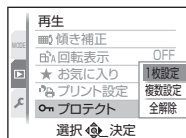
お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時

- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

[ ]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1. 手順**2**で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2. ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3. [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 全解除中に[MENU/SET]を押すと、途中で全解除が中止されます。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

アフレコ

撮影した画像に、あとから音声を入れることができます。

1 再生メニューから[アフレコ]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押して録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか？」と表示されます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押して録音を開始してください。（元の音声はなくなります）
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- [🗑]を押すと中止されます。

3 [MENU/SET]を押して録音を終了する

- [MENU/SET]を押さなくても、約10秒間録音すると、自動的に終了します。

4 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。
- 動画またはプロテクトされた画像にはアフレコはできません。
- **本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で撮影した音声付き静止画を、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ（LUMIX）で再生することはできません。**

個人認証

選択した画像の個人認証に関するすべての情報が解除されます。

1 再生メニューから[個人認証]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

4 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 解除した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は解除できません。

[⇔] コピー

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーまたはカードからメモ専用フォルダーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[コピー]を選ぶ

2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]を押す

[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順**4**へ

[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。→手順**3**へ

[SD→メモ]：カードからメモ専用フォルダー(内蔵メモリー)へ1枚ずつコピーされます。(動画はコピーされません)→手順**3**へ

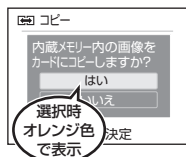
- メモ画像をカードへコピーする場合は、メモ再生メニューの[コピー]を選択してください。(P95)

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 内蔵メモリーからカードへのコピー中に[MENU/SET]を押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピー中は電源を[OFF]にしないでください。

5 [⏏]を押してメニュー画面に戻る

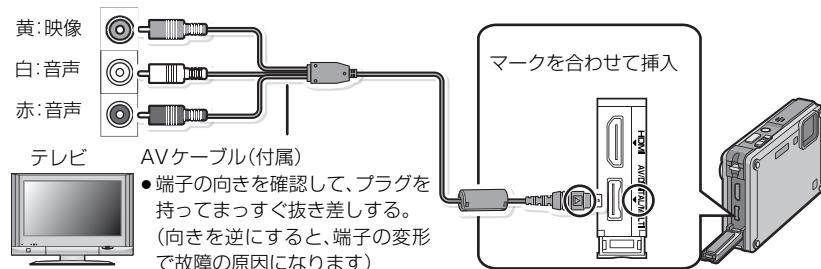
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーすると、自動的に再生画面に戻ります。

お知らせ

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー(約40 MB)より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。(P132)
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した画像のみコピーされます。(当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります)
- プリント設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- [AVCHD Lite]で撮影した動画はコピーできません。

テレビで見る

再生モード：▶

AV ケーブル(付属)を使って見る

準備：[TV画面タイプ](P30)を設定する。
本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

2 本機の[AV] 端子にAVケーブルを確実に接続する

3 テレビの電源を入れ、外部入力にする

4 本機の電源を [ON] にする

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 音声はモノラルで再生されます。

SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに撮影したSDメモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

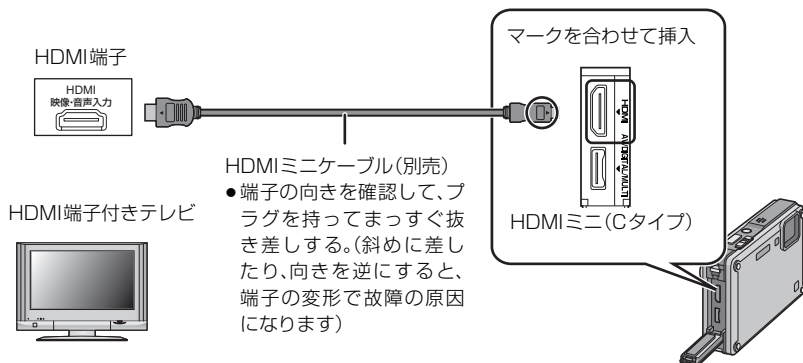
お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD Lite]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHC カードは SDHC カードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

HDMI端子付きテレビで見る

HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続すると、高画質な画像や動画をテレビで楽しむことができます。

HDMIとは
HDMIはデジタル機器向けのインターフェースです。HDMI対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影した画像を高画質·高音質で楽しむことができます。また、ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると連動操作(ビエラリンク)ができます。(P116)

準備: [HDMI出力解像度](P31)を確認する。
本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 テレビのHDMI端子にHDMIミニケーブルを接続する

2 本機の[HDMI]端子にHDMIミニケーブルを確実に接続する

3 テレビの電源を入れ、HDMI入力に切り換える

4 本機の電源を[ON]にし、[▶]を押す

● [ビエラリンク](P31)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P116)
(メモモード以外)

テレビで見る（つづき）

再生モード：▶

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いいただくことをおすすめします。
  ・品番：RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)
- AV ケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもHDMI出力できません。
- HDMIミニケーブル接続時にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- HDMIミニケーブル接続時、液晶モニターに画像は表示されません。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- テレビの説明書もお読みください。
- 音声はモノラルで再生されます。

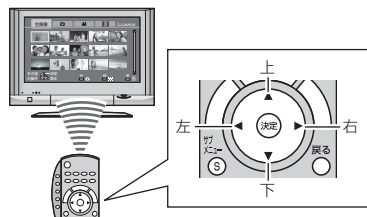
ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)を使う

ビエラリンク(HDMI)とは

- 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.4に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2008年12月現在)

準備：[ビエラリンク](P31)を[ON]に設定する。

1 HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P115)

当社製テレビ(ビエラ)

2 テレビのリモコンで操作する

■ 使用できる機能

❶ マルチ再生

テレビのリモコンの［ 赤 ］を押して、再生するデータの種類を切り換える

- 再生するデータの種類は、［全画像］→［ ］→［ ］→［ ］→［全画像］の順に表示が切り換わります。

▲/▼/◄/► で画像を選び、［ 決定 ］を押して 1 画面表示にする

- ［サブメニュー］を押すとスライドショーの設定などを行うことができます。

❷ 1画面表示

◄/► で画像を送る

▲ で撮影情報を表示する

▼ で ❶ のマルチ再生に戻る

- ［全画像］または［ ］から1画面表示を行ったときに［決定］を押すと、❸ のスライドショーを開始します。
- ［ ］または［ ］から 1 画面表示を行ったときに［決定］を押すと、動画を再生します。◄/► で早戻し / 早送り、▼ で再生を終了します。

❸ スライドショー

［決定］を押してスライドショー開始/一時停止操作をする

一時停止中に ◄/► で画像を送る

▼ でスライドショーを終了し、❷ の 1 画面表示に戻る

- **スライドショーで動画の音声を再生するときは**
  ［全画像］を選んでいるときにスライドショーで動画の音声を再生するには、［サブメニュー］を押し、スライドショーで［効果］を［OFF］に、音声を［ON］に設定してください。

- **操作アイコンの表示 / 非表示について**
  ［戻る］を押すと、操作アイコンを非表示にすることができます。また操作アイコン非表示中に［サブメニュー］を押すと、操作アイコンを表示します。

- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをおすすめします。
- 本機の［ビエラリンク］(P31)を［ON］に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。(設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の［ビエラリンク］(P31)を［OFF］に設定してください。

テレビで見る（つづき）

再生モード：

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。（USB接続ケーブルでパソコンと接続時などは電源は切れません）

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、140ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、それぞれの取扱説明書をお読みください。

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いいただくことをおすすめします。
  - ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもビエラリンクが働きません。
- 本機の HDMI 出力解像度（P31）の [1080i] は、以下の場合のみ有効です。

  HDMI 出力時：
  - ・[モード別再生] の [静止画] 選択時
  - ・[スライドショー] の [静止画のみ] 選択時
  - ・[スライドショー] の [カテゴリー選択] ※選択時

  [ビエラリンク] を [ON] に設定時：
  - ・テレビの画面上で表示される [ ] を選択した場合
  - ・[スライドショー] の [静止画のみ] 選択時
  - ・[スライドショー] の [カテゴリー選択] ※選択時

※ [ ]（トラベル日付）以外

・上記以外の場合は [720p] で出力されます。

- 本機の[HDMI出力解像度]（P31）を[AUTO]または[1080i]に設定し、テレビの画面上で表示される [ ] を選択すると、1 画面表示の際にしばらくの間画面が黒くなりますが、故障ではありません。
- テレビの画面上で表示される [ ] を選択した場合、[スライドショー] の [カテゴリー選択] で、[ ]（トラベル日付）や [ ]（AVCHD Lite）、[ ]（MOTION JPEG）は選択できません。

記録した静止画や動画を残す

本機で記録した静止画や動画は、そのファイル形式(JPEG、AVCHD Lite、MOTION JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SD カードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式:[静止画](JPEG)/[動画](AVCHD Lite)

当社製ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーに本機で撮影した SD カードを入れると、ブルーレイディスクや DVD ディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

- [AVCHD Lite]で撮影された動画はAVCHD対応機器で再生できます。お使いの機器の説明書で対応を確認してください。ただし、一部の対応機器においては、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。
- [AVCHD Lite] で撮影された動画は AVCHD に対応していない機器(従来の DVD レコーダーなど)では再生できません。
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの説明書をお読みください。

AV ケーブルを使って再生映像をダビングする

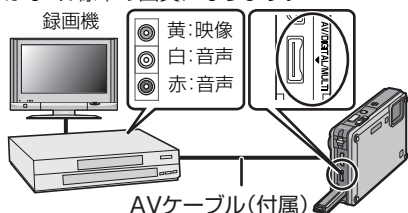
取り込み可能なファイル形式:[動画](AVCHD Lite、MOTION JPEG)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。ハイビジョン(AVCHD)対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(付属)で接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P30)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9] に設定してダビングした動画を 4:3 のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビング時は本機の [DISPLAY] を押し、画面表示を消しておくことをおすすめします。(P45)
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の説明書をお読みください。

パソコンにコピーする(P120)

取り込み可能なファイル形式:[静止画](JPEG)/[動画](AVCHD Lite、MOTION JPEG)

CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使ってパソコンに静止画や[AVCHD Lite]、[MOTION JPEG]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD Lite]で撮影した動画から、ハイビジョンではない標準の画質のDVDビデオを作成することなどができます。

- [AVCHD Lite]動画に関するファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、[AVCHD Lite]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使うと便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**および**「付属ソフトについてのお知らせ」**をお読みください。

■ 使用できるパソコン

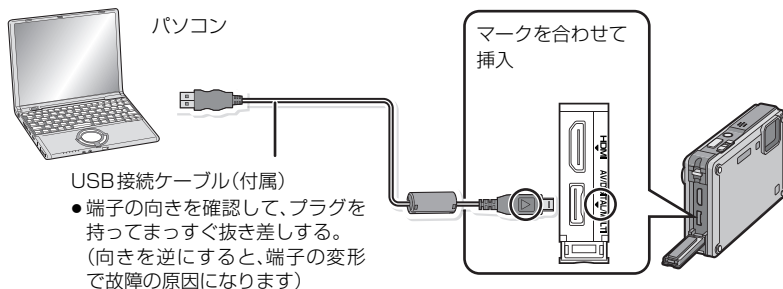
	Windows			Macintosh
	98/98SE	Me	2000/XP/Vista	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える？	**使えません**		**使えます※1**	**使えません**
[AVCHD Lite]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**		**取り込めます※2**	**取り込めません**
USB接続ケーブルを使ってデジタルカメラの静止画、[MOTION JPEG]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めます**			**取り込めます（OS 9.2.2/OS X [10.1～10.5]）**
USBドライバーのインストールは必要？	**必要です**	**不要です**		–

- Windows 95以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1 Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2 [AVCHD Lite]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って取り込んでください。

静止画、[MOTION JPEG] 動画を取り込む（[AVCHD Lite] 動画以外）

準備：本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

● 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売）を使用してください。
AC アダプター（別売）を使用するときは、マルチ変換アダプター（別売）を使用してください。
バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全に USB接続ケーブルを取り外す」（P122）をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

パソコンと接続する（つづき）

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

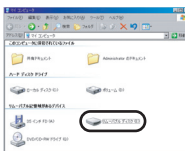
1 USB接続ケーブル(付属)を本機とパソコンに挿入する

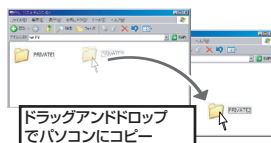
● 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 ▲/▼で[PC]を選び、[MENU/SET]を押す

● セットアップメニューで[USBモード](P30)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPCと接続します。接続のたびに設定する必要がないので、便利です。
● [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

● Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。(「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます)

4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

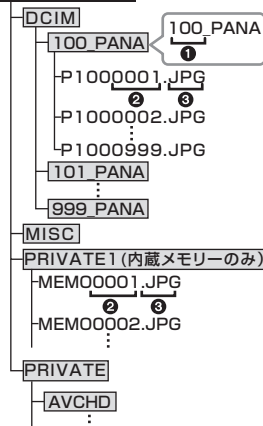
5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

● パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

● 本機の電源を切ってからACアダプター(別売)を抜き差ししてください。
● カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。
● メモモードで接続したときは、カードが入っていても内蔵メモリーのデータが表示されます。
● HDMIミニケーブル接続時(P115)にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB 接続ケーブルでの接続が優先されます。

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る(フォルダー構造)

●パソコンで加工したフォルダーや画像はカメラ本体で再生できません。
パソコンからカードに画像を書き込む際には、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使うことをおすすめします。

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG:　画像
　 MOV:　動画
MISC:　DPOFプリント
　　　　お気に入り
PRIVATE1:メモ画像
AVCHD:　AVCHD Lite 動画

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット](P29)実行後。
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合。(他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合。

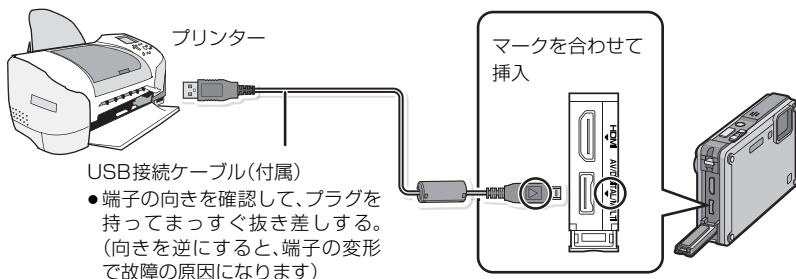
■ PTPモードで接続する (Windows® XP/Windows Vista®/Mac OS Xのみ)

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。
カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードでは [AVCHD Lite] で撮影した動画は再生できません。

プリントする

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。
モードダイヤルを[📝]以外に合わせておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売）を使用してください。
  AC アダプター（別売）を使用するときは、マルチ変換アダプター（別売）を使用してください。
  接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とプリンターに挿入する

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[⊠]が表示されます。[⊠]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

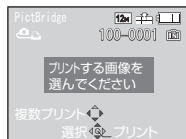
2 ▲/▼ で [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] を押す

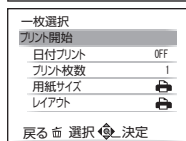
お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 本機の電源を切ってからACアダプターを抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを抜き、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。
- メモモードの画像は、カードにコピー（P95）して、プリントしてください。
- HDMIミニケーブル接続時（P115）にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB 接続ケーブルでの接続が優先されます。
- [AVCHD Lite] で撮影した動画はプリントできません。

画像を選んで1枚ずつプリントする

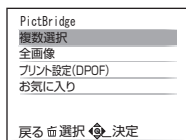
1 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- メッセージは約2秒後に消えます。

2 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については126ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

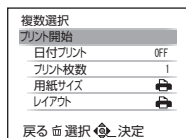
1 ▲を押す

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]を押すとプリントする画像に[]が表示されます。(もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら[MENU/SET]を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P110)された画像のみをプリントします。
お気に入り※	[お気に入り]設定(P109)された画像のみをプリントします。

※[お気に入り]が[ON]で、設定済みの画像があるときのみ(P109)

3 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については126ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントする（つづき）

プリントの各種設定

「画像を選んで１枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[ ]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを [OFF] にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
	1面ふちなし印刷
	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
	2面印刷
	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に [DISPLAY] を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証] または、シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル編集]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名:
バッテリーパック
品番:
DMW-BCF10

品名:
マルチ変換
アダプター
品番:
DMW-MCA1

品名:
ACアダプター
品番:
DMW-AC5

※AC アダプターおよびマルチ変換アダプターは必ずセットでお買い求めください。
単独では使用できません。

品名:
ソフトケース
品番:
DMW-CFT1

品名:
本革ストラップ
品番:
DMW-NSTX1

品名:
マリンケース
品番:
DMW-MCFT1

品名:
HDMIミニケーブル
品番:
RP-CDHM15
RP-CDHM30

品名:
SDメモリー
カード
SDHCメモリー
カード

マリンケース以外は防水には対応していません。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

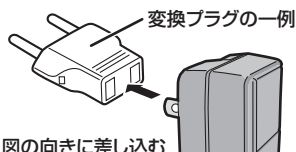
CLUB Panasonic

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
●電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
●市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

● ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東·アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

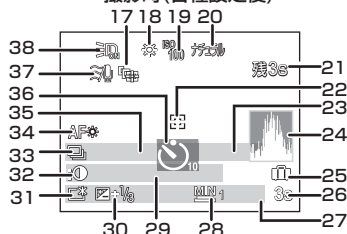
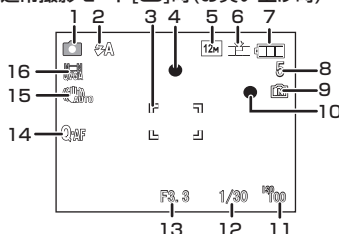
■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

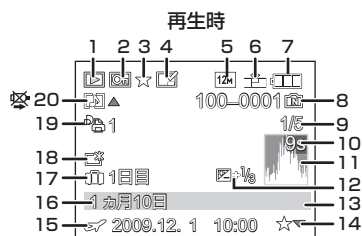
液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

通常撮影モード[]時(お買い上げ時)

撮影時(各種設定後)

■ **撮影時**

1 撮影モード
2 フラッシュモード(P47)
3 AF エリア(P40)
4 フォーカス(P40)
5 記録画素数(P82)
6 クオリティ(P83)
7 バッテリー残量(P17)
8 記録可能枚数(P148)
9 内蔵メモリー(P21)
カード(P21):(記録時のみ表示)
10 記録動作
11 ISO感度(P84)
12 シャッタースピード(P40)
13 絞り値(P40)
14 クイック AF(P88)
コンティニュアスAF(P73、88):C-AF
15 手ブレ補正(P91)
手ブレ警告(P40):
16 撮影モード(動画撮影時)(P70)
画質設定(P70)
17 追尾 AF(P87)
AF マクロ撮影(P51):AF
ズームマクロ撮影(P51):
18 ホワイトバランス(P84)
19 ISO感度(P84)
最高ISO感度(P83)
20 カラーモード(P90)
21 記録可能時間(P68):残XXhXXmXXs
22 スポットAFエリア(P86)
23 名前※1(P61)
24 ヒストグラム表示(P46)
25 トラベル日付(P78)
26 記録経過時間(P68)
追尾 AF 操作(P37、87)
インテリジェントISO(P83):iISO
27 現在日時/旅行先設定(P80)※2:
ズーム/EX光学ズーム(P41)/
デジタルズーム(P41、90):
EZ W T 1X
28 下限シャッター速度(P91)
29 月齢/年齢※1(P61)
旅行先※2(P78)
30 露出補正(P54)
31 パワーLCDモード(P27)
オートパワーLCDモード(P27):
32 暗部補正(P88)
33 連写(P89)
オートブラケット(P55):
音声記録(P92):
34 AF補助光(P92)
AF ロック(水中)(P66):AF-L
35 トラベル経過日数(P78)
36 セルフタイマーモード(P53)
37 風音低減(P73)
38 LED ライト(P74)

※1 シーンモードの[赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]や[ペット]で起動した場合に約5秒間表示されます。
※2 起動時/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

再生時

■ 再生時

1 再生モード(P42)
2 プロテクト(P111)
3 お気に入り表示(P109)
ズームマーク(P94):
4 文字焼き込み済み表示(P104)
5 記録画素数(P82)
6 クオリティ(P83)
7 バッテリー残量(P17)
8 フォルダー・ファイル番号(P123)
内蔵メモリー(P21)
再生経過時間(P100):XXhXXmXXs
9 画像番号/トータル枚数
10 動画記録時間(P100):XXhXXmXXs
11 ヒストグラム表示(P46)
12 露出補正(P54)
13 撮影情報(P45)
14 お気に入り設定(P109)
15 撮影日時/旅行先設定(P80)
名前(P61)
旅行先(P78)
タイトル(P102)
16 月齢/年齢(P61)
17 トラベル経過日数(P78)
18 パワーLCDモード(P27)
19 プリント枚数(P110)
20 音声再生(P100)
動画再生(P100)/
画質設定(P70):QVGA
ケーブル切断禁止アイコン(P124)

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P21)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P111)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P32)してください。
設定枚数をこえました	[複数消去](P44)、[お気に入り](P109)、[タイトル編集](P102)、[文字焼き込み](P104)、[リサイズ](P106)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。 設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。 お気に入り設定が999枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ● DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P32)し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか?	本機では認識できないカードです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P32)し直してください。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズが正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	本機に対応したカードをお使いください。(P21) 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
メモリーカードエラー カードを確認してください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ ライトエラー カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため 記録を終了しました	動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。 ※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 [画質設定]を[HD]、[WVGA]または[VGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P32)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P123) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P32)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P29)
4:3TV用で出力します/ 16:9TV用で出力します	●本機にAVケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET]を押してください。 ●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P30) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P120、124)
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。
バッテリー残量が不足しています	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。
このバッテリーは使えません	●本機では認識できないバッテリーです。パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。端子部のごみなどを取り除いてください。
扉が開いています	●カード/バッテリー扉が開いています。カード/バッテリー扉が開いていると本機は操作できません。 ●異物を挟み込まないよう気をつけてしっかりと閉じてください。
使用上のご注意 扉の内側に、砂、毛髪などの異物が無いことを確認し、閉じてください	●カード/バッテリー扉が開いています。 ●カード/バッテリー扉が開いていると本機は操作できません。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P135～141）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの[設定リセット]（P29）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を入れても動作しない。	●バッテリーが正しい向きに入っていません。（P19） ●バッテリーが消耗しています。 ●動作表示ランプが点灯するまで電源を押したままにしてください。
電源を入れているのに、液晶モニターが消灯している。	●[エコモード]の[自動液晶OFF]（P28）が働いていませんか？ →シャッターボタンを半押しして、解除してください。 ●バッテリーが消耗しています。
電源を入れてもすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →[エコモード]（P28）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	●ビエラリンク（HDMI）対応のテレビとHDMIミニケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。（P31）
充電[CHARGE]ランプが点滅する。	●バッテリーが高温、あるいは低温になりすぎていませんか？その場合、充電時間が通常よりも長くなるか、充電が完了しない場合もあります。 ●チャージャーやバッテリーの端子部が汚れていませんか？ →乾いた布でふき取ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	●モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？ ●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P44）
撮影した画像が白っぽい。	●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときはレンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像の周囲が暗くなる。	● W端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？ → 少しズームしてから撮影してください。（P41） ● シーンモードの［ピンホール］で撮影した画像ではありませんか？
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→ 露出が正しく補正されているか確認してください。（P54） ●［下限シャッター速度］を速く設定すると暗く写りやすくなります。 →［下限シャッター速度］（P91）を遅く設定してください。
1回の撮影で、2〜3枚の画像が撮れるときがある。	→ オートブラケット（P55）、シーンモードの［高速連写］（P63）、［フラッシュ連写］（P64）または撮影メニューの［連写］（P89）を［OFF］に設定してください。
ピントが合わない。	● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 → 被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ● ピントが合う範囲から外れています。（P39） ● 手ブレや被写体ブレしています。（P40）
オートフォーカスやその他の動作が正常に働かない。	● 電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は電源をはずしてお買い上げの販売店か、修理ご相談窓口にご相談ください。
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→ 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P33） → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P53）を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	● 記録可能枚数が2枚以下ではありませんか？
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時は、ISO感度が［AUTO］に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） → ISO感度を低くしてください。（P84） →［カラーモード］を［ナチュラル］に設定してください。（P90） → 明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの［高感度］または［高速連写］に設定していませんか？高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじ（スミア）が出る。	● CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
動画撮影が途中で止まる。	●動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。 ※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 ●[画質設定]を[HD]、[WVGA]または[VGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 ●「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（P32）することをおすすめします。 ●カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 ●マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
AF ロックできない。 （動体追尾できない）	●周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。（P87）

■ レンズについて

Q（質問）	A（回答）
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	●ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■ 液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
電源［ON］中に、液晶モニターが消える。	●[エコモード]の[自動液晶OFF]（P28）では、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。[ただし、ACアダプター（別売）使用時を除く] バッテリーの残量が少ないと、フラッシュの充電に時間がかかり、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	●この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ●ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	●電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	→液晶モニターの明るさを正しく調整してください。（P26） ●[パワーLCD]になっていませんか？（P27）

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 液晶モニターについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	●[⊛]に設定していませんか？ →フラッシュモードを変更してください。(P47) ●オートブラケット(P55)または撮影メニューの[連写](P89)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	●赤目軽減(P47)にしている場合は、2回発光します。 ●シーンモードの[フラッシュ連写](P64)になっていませんか？

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P108)を[ON]に設定しています。
再生できない。	●[▶]を押しましたか？(P42) ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
撮影した画像が表示されない。	●[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]になっていませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P43)
フォルダー・ファイル番号が[－]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を消去するには、フォーマット(P32)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)

■ 再生について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？（P22） ●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	●室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	●フラッシュが赤目軽減（[⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎]）のとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュモードを[⚡A]、[⚡]または[⊘]にして撮影することをおすすめします。
画面に「サムネイル表示」と表示される。	●他機で撮影された静止画ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される。	●動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	●正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。 ●パソコンやプリンターと接続しているとき、[HDMI]端子からの出力はできません。 →本機をテレビにのみ接続してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル（付属）またはHDMIミニケーブル（別売）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P114、115） →[AVCHD Lite]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークがついている当社製テレビ（ビエラ）で再生することができます。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（つづき）

Q（質問）	A（回答）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→ 本機の[TV画面タイプ]を確認してください。（P30）
ビエラリンク（HDMI）が働かない。	● HDMIミニケーブル（別売）で正しく接続されていますか？（P115） → HDMIミニケーブル（別売）が奥まで確実に入っていることを確認してください。 ● 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？（P31） → テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください） → 接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ（ビエラ）の「ビエラリンク制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。（詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください）
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか？ ● パソコンが本機を正常に認識していますか？ → 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。（P30、122）
パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	→ USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 ● モードダイヤルが[ ]のときは、内蔵メモリーの画像が表示されます。 → モードダイヤルを[ ]以外に合わせてください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 本機の[USBモード]を[PictBridge（PTP）]に設定してください。（P30、124）
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） → お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16：9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q（質問）	A（回答）
シャッターボタンを半押しすると、白いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ（P92）が白く点灯します。

■ その他(つづき)

Q(質問)	A(回答)
AF補助光が点灯しない。	●撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P92) ●明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	●ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
ズームレバーやカード/バッテリー扉、端子カバーなどカメラの各部が動かせない	●スキー場などの寒冷地で使用された場合、雪や水滴が付いたまま放置しておくと、ボタンの隙間などの雪や水滴が凍りカメラの各部が動きにくくなる場合があります。これは故障ではありません。カメラが常温に戻ると回復します。
本機から「カタカタ」音などがする。	以下の場合は、故障ではありませんので、安心してお使いください。 ●本機を振ると「カタカタ」音がする。(レンズが移動する音) ●電源の[ON]/[OFF]、または撮影と再生の切り換え時に、「カタカタ」などの音がする。(レンズが移動する音) ●ズーム操作時に、手に振動が伝わる。(レンズ動作の振動)
レンズ部から「カチッ」と音がする。	●ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	●本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P22)時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00]の日付が記録されます。
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	●ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	●EX光学ズーム時、W端付近ではズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	●ズームマクロ(P51)に設定していませんか？ ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。
ファイル番号が連続して記録されない。	●特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P123)
ファイル番号がさかのぼって記録される。	●電源を[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
月齢/年齢が正しく表示されない。	●時計設定(P22)または誕生日設定(P61)を確認してください。
放置していたら、突然デモが表示される。	●これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願い

防水 / 防じん、耐衝撃性能について

- 本機は、JIS 保護等級IP58相当の防水/防じん性能があります。水深3.0 m/60分までの撮影が可能です。※1

※1当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力の水中で使用できることを意味しています。すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

- 付属品は防水仕様ではありません。
- MIL-STD 810F Method 516.5-Shock に準拠した厚さ5 cmの合板上での1.5 mからの落下テストをクリアしています。※2

※2 すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。

- カメラに衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口(P155)にご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検(有料)をおすすめします。
- 温泉、油、アルコール類の飛まつがかかるような環境などで使用された場合、防水 / 防じん、耐衝撃性能が劣化する場合があります。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。

詳しくは、11 ページの「(重要)本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。

本機について

本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ハンドストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(別売)、マルチ変換アダプター(別売)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

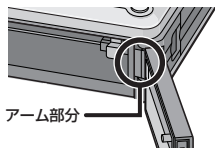
付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

本機はスキー場など寒冷地での性能保証はしておりません。–10 ℃での動作確認はしておりますが、急激に気温が下がり、ズームレバーが凍るなど、動きにくくなったり、カード / バッテリー扉や端子カバーが開きにくくなる可能性がありますので、お気をつけください。
- 寒冷地で使用する際は、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 塩分などが付着した場合、カード/バッテリー扉のアーム部分が白くなることがあります。水を含ませた綿棒などで白くなった部分がとれるまでふき取ってください。ふき取ったあと、付属のブラシで軽く払ってください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。寒冷地では、保温しながらお使いください。暗くなった液晶モニターは、内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズとマイク、スピーカーについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズに水や汚れが付いているときは、撮影する前に柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- マイク、スピーカーに水滴が付いていると、音が小さくなったり、聞き取りにくくなることがあります。マイク、スピーカーを下に向けて水を出してから水滴をふき取り、しばらく乾燥させたあとでお使いください。
- マイクやスピーカーの穴に先端のとがったものを入れないでください。(内部の防水シートが傷つき防水性能が損なわれる場合があります)

使用上のお願い（つづき）

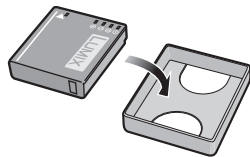
バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーは、バッテリーケース(付属)に収納してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P129)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

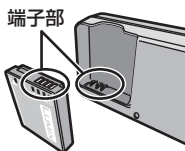
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャーについて

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P29)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P113)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P32)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

使用上のお願い（つづき）

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40％～60％です）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源が[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数･時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数･時間は変動します。

■ 記録可能枚数（静止画：枚）

画像横縦比		4:3											
記録画素数		12M		8M（EZ）		5M（EZ）		3M（EZ）		2M（EZ）		0.3M（EZ）	
クオリティ													
内蔵メモリー（約40 MB）		6	12	8	18	13	26	28	54	45	84	200	320
カード	32 MB	3	8	5	11	8	16	18	35	29	54	130	200
	64 MB	8	17	12	24	18	35	37	73	60	110	270	420
	128 MB	17	35	25	50	37	72	77	145	120	220	550	860
	256 MB	35	70	50	98	73	140	150	290	240	440	1080	1690
	512 MB	70	135	99	195	145	280	300	580	470	880	2150	3350
	1 GB	140	280	200	390	290	560	600	1160	950	1770	4310	6710
	2 GB	290	560	400	790	590	1130	1220	2360	1910	3610	8770	12290
	4 GB	570	1110	800	1560	1170	2230	2410	4640	3770	7090	17240	24130
	6 GB	860	1690	1220	2380	1780	3390	3660	7050	5730	10790	26210	36700
	8 GB	1160	2270	1630	3180	2380	4540	4910	9440	7670	14440	35080	49120
	12 GB	1750	3420	2460	4810	3590	6860	7400	14240	11570	21790	52920	74090
	16 GB	2340	4570	3290	6410	4790	9150	9880	19000	15440	29060	70590	98830
	32 GB	4690	9170	6600	12870	9620	18350	19820	38120	30970	58310	141620	198260

■ 記録可能時間（動画撮影時）

ファイル形式		AVCHD Lite		
画質設定		SH	H	L
内蔵メモリー（約 40 MB）		使用できません		
カード	32 MB	動作保証していません		
	64 MB			
	128 MB			
	256 MB			
	512 MB	3 分 00 秒	4 分 00 秒	7 分 00 秒
	1 GB	7 分 00 秒	9 分 00 秒	14 分 00 秒
	2 GB	15 分 00 秒	20 分 00 秒	29 分 00 秒
	4 GB※	30 分 00 秒	40 分 00 秒	1 時間 00 分
	6 GB※	46 分 00 秒	1 時間 00 分	1 時間 28 分
	8 GB※	1 時間 00 分	1 時間 20 分	1 時間 54 分
	12 GB※	1 時間 34 分	2 時間 00 分	2 時間 54 分
	16 GB※	2 時間 00 分	2 時間 40 分	4 時間 00 分
	32 GB※	4 時間 00 分	5 時間 20 分	8 時間 00 分

お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数･時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- ズームマクロ設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。

	3:2								16:9							
	10.5M		7M (EZ)		4.5M (EZ)		2.5M (EZ)		9M		6M (EZ)		3.5M (EZ)		2M (EZ)	
	6	13	9	19	20	39	31	60	7	15	10	21	23	46	41	79
	4	8	6	12	12	25	20	39	4	9	6	13	15	30	26	51
	9	18	13	26	27	53	42	81	10	21	14	28	32	62	56	105
	19	38	27	53	55	105	87	165	21	43	29	58	66	125	110	210
	38	76	54	105	105	210	170	320	43	85	59	110	125	240	220	420
	77	150	105	210	210	420	330	640	86	165	115	220	250	490	440	830
	155	300	210	420	430	850	670	1280	170	340	230	450	510	990	880	1670
	310	620	440	850	890	1700	1360	2560	350	680	470	930	1040	1980	1800	3410
	620	1210	860	1670	1740	3350	2680	5020	690	1350	940	1820	2040	3890	3540	6700
	940	1850	1310	2540	2650	5090	4070	7640	1050	2060	1430	2770	3100	5910	5390	10190
	1260	2480	1760	3410	3550	6820	5450	10230	1410	2750	1910	3720	4160	7920	7220	13640
	1900	3740	2660	5140	5360	10290	8230	15430	2140	4160	2890	5610	6270	11950	10890	20580
	2540	4990	3550	6860	7160	13720	10980	20590	2850	5550	3860	7480	8370	15940	14530	27450
	5100	10010	7130	13760	14360	27530	22020	41300	5720	11130	7740	15010	16800	31970	29150	55070

	MOTION JPEG			
	HD	WVGA	VGA	QVGA
				1分27秒
	4秒	16秒	17秒	55秒
	12秒	37秒	38秒	1分57秒
	29秒	1分18秒	1分21秒	4分00秒
	59秒	2分35秒	2分40秒	7分50秒
	2分00秒	5分10秒	5分20秒	15分40秒
	4分00秒	10分20秒	10分50秒	31分20秒
	8分20秒	21分20秒	22分10秒	1時間4分
	16分30秒	41分50秒	43分40秒	2時間5分
	２５分１０秒	1時間3分	1時間6分	3時間１１分
	３３分４０秒	1時間２５分	1時間２８分	4時間１５分
	５０分５０秒	2時間8分	2時間１４分	6時間２６分
	1時間8分	2時間５２分	2時間５９分	8時間３５分
	2時間１６分	5時間４５分	5時間５９分	１７時間１３分

※ [MOTION JPEG] で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

- [AVCHD Lite] はカードの容量いっぱいまで記録できます。ただし、電池寿命によって、カードの容量が残っていても撮影が終了する場合があります。(P18)

仕様

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.35 W（撮影時） 0.7 W（再生時）

カメラ有効画素数	1210万画素
撮像素子	1/2.33型CCD　総画素数1270万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学4.6 倍ズーム　f=4.9 mm～22.8 mm（35 mmフィルムカメラ換算：28 mm～128 mm）/F3.3 ～ F5.9
デジタルズーム	最大4.0 倍
EX光学ズーム	最大9.1倍
フォーカス	通常/AFマクロ / ズームマクロ 顔認識/ 追尾 AF/11 点 /1点（H）/1点/ スポット
撮影範囲	通常：30 cm～∞ マクロ/インテリジェントオート/ メモ： 5 cm（W端時）/30 cm（T端時）～∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影：連写速度 **連写枚数**	約 2.3コマ/秒（通常）、約1.8コマ/秒（フリー連写） 最大5コマ（スタンダード）、最大3コマ（ファイン）、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
高速連写：連写速度 **連写枚数**	約 10 コマ / 秒（速度優先時）、約6コマ/秒（画質優先時） 記録画素数：3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9） 内蔵メモリー使用時：約15枚（フォーマット直後） カード使用時：最大100枚（カードの種類、撮影条件によって異なる）
ISO感度	オート /80/100/200/400/800/1600 シーンモードの[高感度]：1600～6400
シャッタースピード	8秒～1/1300秒、シーンモードの[星空]：15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出	プログラムAE、露出補正（1/3 EVステップ、−2 EV～+2 EV）
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	2.7型 TFT 液晶（約23万ドット）（視野率約100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約 30 cm～約5.1 m（W端、[ISO AUTO]設定時）
	オート/赤目軽減オート/強制発光（赤目軽減強制発光）/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約40 MB）/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 **静止画**	画像横縦比[4:3]設定時 4000×3000画素/3264×2448画素/2560×1920画素/2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素 画像横縦比[3:2]設定時 4000×2672画素/3264×2176画素/2560×1712画素/2048×1360画素 画像横縦比[16:9]設定時 4000×2248画素/3264×1840 画素/2560×1440画素/1920×1080画素

記録画素数 動画	AVCHD Lite（音声付き） [SH] 設定時 1280×720画素 （60p 記録※ /17Mbps、カード使用時のみ） [H] 設定時 1280×720画素 （60p 記録※ /13Mbps、カード使用時のみ） [L] 設定時 1280×720画素 （60p 記録※ /9Mbps、カード使用時のみ） ※ CCD からの出力は 30コマ/秒です MOTION JPEG（音声付き） [HD] 設定時 1280×720画素（30コマ/秒、カード使用時のみ） [WVGA] 設定時 848×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ） [VGA] 設定時 640×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ） [QVGA] 設定時 320×240画素（30コマ/秒）
クオリティ（圧縮率）	ファイン/スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 音声付き静止画 音声付き動画	 JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）/DPOF対応 JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）+QuickTime（音声付き静止画） AVCHD Lite/QuickTime Motion JPEG
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	 USB 2.0（High Speed） NTSC コンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 AV/DIGITAL/MULTI HDMI	 専用ジャック（14pin） miniHDMI C タイプ
寸法	約 幅98.3 mm×高さ63.1 mm×奥行き23.0 mm（突起部除く）
質量	約162.5 g（本体） 約183.8 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%
言語切替	なし（日本語のみ）
防水性能	JIS C0920 IPX8 相当。（深度 3.0 m の海中で 60 分間の使用に対応）
耐衝撃性能	「MIL-STD 810F Method 516.5-Shock」に準拠して行った、1.5 m の高さから 5.0 cm 合板上への単体落下試験をクリア
防じん性能	JIS C0920 IP5X 相当

専用バッテリーチャージャー/DE-A59A

定格出力	DC 4.2 V 0.65 A（充電時）
定格入力	AC100 V―240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA（100 V/240 V）

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCF10

電圧 / 容量（最小）	3.6 V/940 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FT1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

その他 Q&A

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎ (025)286-0180

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)254-5520

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 天草市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1919-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

さくいん

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

■ 撮りかたのコツや新製品情報　http://panasonic.jp/
■ サポート情報　http://panasonic.jp/support/
■ 便利なLUMIX修理サービス　http://lumix.jp/repair/

"AVCHD Lite"および"AVCHD Lite"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	DMC-FT1
販売店名	☎（　）　-		

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

F0209NK3089 (　12000 Ⓕ)